# Cisco Firepower 1010 シリーズ ハードウェア設置ガイド

**最終更新**：2025 年 3 月 24 日


**シスコシステムズ合同会社**
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（ **www.cisco.com/jp/go/safety_warning/** ）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED “AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

# 目 次


第 1 章 **概要 1**

機能 1

パッケージの内容 9

QR コードステッカー 10

シリアル番号とデジタル ドキュメンテーション ポータル QR コード 12

前面パネル 12

背面パネル 13

ステータス LED 14

ハードウェア仕様 17

製品 ID 番号 18

115 W 電源用電源コードの仕様 20

66 W および 150 W 電源モジュール用電源コードの仕様 25

第 2 章 **インストールの準備 31**

設置に関する警告 31

シャーシの配置 33

安全に関する推奨事項 34

電気製品を扱う場合の注意 34

静電破壊の防止 35

設置場所の環境 35

サイトの考慮事項 35

電源モジュールに関する考慮事項 36

ラックの構成に関する考慮事項 36

第 3 章 シャーシの取り付け 39

シャーシの開梱と確認 39

シャーシのデスクトップ マウント 40

シャーシの壁面取り付け 41

115 W または 66 W 電源付きシャーシのラックマウント 44

150 W 電源付きシャーシのラックマウント 49

第 4 章 コンソール ポートへの接続 57

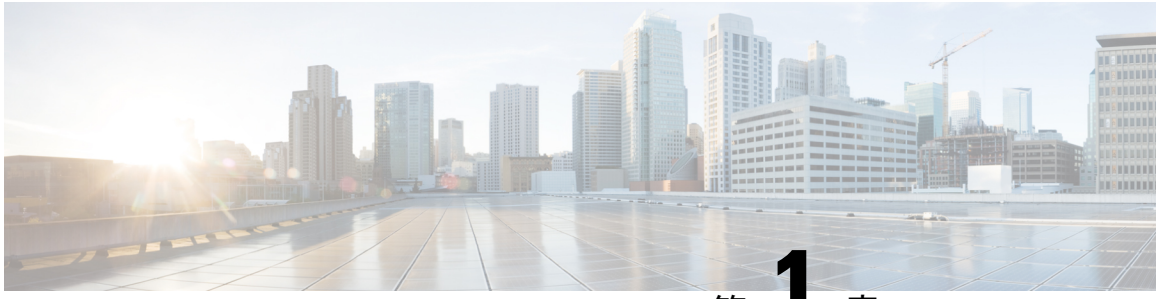
Microsoft Windows でのコンソール ポートへの接続 57

Mac OS X でのコンソール ポートへの接続 59

Linux でのコンソール ポートへの接続 59

第 5 章 設置、メンテナンス、アップグレード 61

FIPS 不透明シールドの取り付け 61



第 1 章

# 概要


- 機能 （1 ページ）
- パッケージの内容 （9 ページ）
- QR コードステッカー （10 ページ）
- シリアル番号とデジタル ドキュメンテーション ポータル QR コード （12 ページ）
- 前面パネル （12 ページ）
- 背面パネル （13 ページ）
- ステータス LED （14 ページ）
- ハードウェア仕様 （17 ページ）
- 製品 ID 番号 （18 ページ）
- 115 W 電源用電源コードの仕様 （20 ページ）
- 66 W および 150 W 電源モジュール用電源コードの仕様 （25 ページ）


## 機能

Cisco Firepower 1010 および 1010E は、Cisco Firepower ファミリのコンパクトなネットワーク セキュリティ アプライアンスのシリーズです。Firepower 1010 は、Firepower Threat Defense （FTD）バージョン 6.4 および ASA バージョン 9.12 で最初にサポートされています。PoE+ および L2 スイッチのサポートは、FTD バージョン 6.5 および ASA バージョン 9.13 から追加されました。PoE+ のない 1010E は、Cisco Secure Firewall Threat Defense バージョン 7.2.3 および Cisco Secure Firewall ASA バージョン 9.18.2 で最初にサポートされます。

『Cisco Firepower Compatibility Guide』[英語] を参照してください。このガイドでは、サポート対象の各 FirePOWER バージョンについて、オペレーティング システムとホスティング環境の要件を含めた Cisco FirePOWER ソフトウェアとハードウェアの互換性を提供しています。

次の図に、Cisco Firepower 1010 および 1010E を示します。

図 *1 : Cisco Firepower 1010* および *1010E*

次の表に、Firepower 1010 および 1010E の機能を示します。

表 *1 : Firepower 1010* および *1010E* の機能

| 機能 | 1010E | 1010 |
|---|---|---|
| フォームファクタ | コンパクト、またはラックマウントシェルフの場合は 2 RU | |
| 取り付け | デスクトップ マウント<br>壁面取り付け（シスコ製品番号 69-100647-01）<br>ラックマウント（シスコ製品番号 800-107605-01）：115 W 電源（部品番号 341-100765-01）および 66 W 電源（部品番号 341-100346-01）がこのラックマウントシェルフに収まります。<br>ラックマウント（シスコ製品番号 800-112976-01）：150 W 電源（部品番号 341-100399-01）がこのラックマウントシェルフに収まります。 | |
| エアーフロー | サイドツーサイド<br>ファンなし<br>（注）<br>Firepower 1010 および 1010E にはファンがないため、システムの内部温度は、ハードウェア仕様 （17 ページ）に記載されている周囲温度よりも大幅に高くなります。 | |
| プロセッサ | 4 コア Intel CPU x 1 | |
| メモリ | 8 GB DDR4 DRAM | |
| ブート パーティション | 8 GB（内部） | |
| L2 スイッチ | Marvell SOHO 88 E6390<br>（注）<br>FTD バージョン 6.5 および ASA バージョン 9.13 からサポートが開始されました | |

| 機能 | 1010E | 1010 |
|---|---|---|
| 管理ポート | ギガビット イーサネット RJ-45 10/100/1000 BaseT X 1<br>ネットワーク管理アクセスに制限されており、RJ-45 ケーブルで接続します。 | |
| コンソール ポート | RJ-45 x 1<br>外部システム経由で管理にアクセスします | |
| USB ミニ B ポート | USB ミニ B X 1<br>外部システム経由で管理にアクセスします | |
| USB ポート | USB 3.0 タイプ A X 1<br>ストレージなどの外部デバイスを接続します | |
| ネットワーク ポート | ギガビットイーサネットRJ-45 10/100/1000 BaseT X 8<br>各 RJ-45（8P8C）銅線ポートは、自動 Medium Dependent Interface Crossover（MDI/X）と、インターフェイス速度、デュプレックスなどのネゴシエートパラメータの自動ネゴシエーションをサポートし、MDI/MDIX 対応です。<br>ポートには（上から下、左から右の順で）1、2、3、4、5、6、7、8の番号が付けられています。各ポートには、1 対の LED があり、それぞれ接続ステータスとリンク ステータス用です。ポートには、ギガビット イーサネット 1/1 からギガビット イーサネット 1/8 までの名前と番号が付けられています。<br>（注）<br>ポート 7 および 8 を PoE+ ポートとして使用できます。PoE+ は FTD バージョン 6.5 および ASA バージョン 9.13 からサポートが開始されました。 | ギガビットイーサネットRJ-45 10/100/1000 BaseT X 8<br>各 RJ-45（8P8C）銅線ポートは、自動 Medium Dependent Interface Crossover（MDI/X）と、インターフェイス速度、デュプレックスなどのネゴシエートパラメータの自動ネゴシエーションをサポートし、MDI/MDIX 対応です。<br>ポートには（上から下、左から右の順で）1、2、3、4、5、6、7、8の番号が付けられています。各ポートには、1 対の LED があり、それぞれ接続ステータスとリンク ステータス用です。ポートには、ギガビット イーサネット 1/1 からギガビット イーサネット 1/8 までの名前と番号が付けられています。 |

| 機能 | 1010E | 1010 |
|---|---|---|
| PoE+ コントローラ カード | （注）<br>ポート 7 および 8 は PoE+ ポートです。PoE+ポートは、FTD バージョン 6.5 および ASA バージョン 9.13 からサポートが開始されました。 | サポート対象外 |
| ロック スロット | Kensington 標準 T バーのロックメカニズムに対応し、シャーシのセキュリティを保護します | |
| リセット ボタン | 小さな埋め込み型のボタンです。3 秒以上押すとシャーシがリセットされ、次のリブート後にデフォルト状態に戻ります。設定の変数は工場出荷時のデフォルトにリセットされますが、フラッシュは消去されず、ファイルは削除されません。 | |
| 電源スイッチ | なし<br>システムの電源は電源コードで制御されます。電源ボタンはありません。Firepower 1010 および 1010E をシャットダウンするには、AC 電源を取り外します。 | |
| 電源コード ソケット | AC 電源にプラグを差し込むと、シャーシに電源が投入されます。 | |
| AC 電源装置 | 外部 AC 電源 X 1<br>電源は、115 W 電源が標準で付属しており、出力は合計 115 W です。55 W の +12 VDC システム電源と、60 W の 53.5 VDC PoE+ 電源を出力します。<br>（注）<br>PoE+ は FTD バージョン 6.5 および ASA バージョン 9.13 からサポートが開始されました。<br>新しい電源の出力は合計 66 W です。66 W の +12 VDC システム電源を出力します。 | 外部 AC 電源 X 1<br>電源は、115 W 電源が標準で付属しており、出力は合計 115 W です。55 W の +12 VDC システム電源と、60 W の 53.5 VDC PoE+ 電源を出力します。<br>新しい 150 W 電源の出力は合計 150 W です。150 W の +12 VDC システム電源を出力します。 |

| 機能 | 1010E | 1010 |
|---|---|---|
| ストレージ | 200 GB M.2 SATA ドライブ x 1<br>ドライブはソフトウェアによって使用されます。ドライブにユーザーはアクセスできません。<br>ドライブは現場では交換できません。ドライブを交換するには、シャーシをシスコに返却する必要があります。 | |
| ゴム製の脚 | シャーシの下部にゴム製の脚 x 4<br>（注）<br>ゴム製の脚も、適切な冷却のために必要です。これらを削除しないでください。 | |

| 機能 | 1010E | 1010 |
| --- | --- | --- |
| セキュリティ規格および認定 | | — |

| 機能 | 1010E | 1010 |
|---|---|---|
| | • ASA 9.16.x で認定済み：<br>• Network Device Collaborative Protection Profile（NDcPPv2.2E）のコモンクライテリア認定<br>• Firewall Collaborative Protection Profile Module（FW_MOD_v1.4e）<br>• Virtual Private Network Gateway Protection Profile Module（VPNGW_MOD_v1.1）<br><br>• FTD 6.4.*x* および FX-OS 2.6.*x* で認定済み：<br>• Network Device Collaborative Protection Profile（NDcPPv2.2E）のコモンクライテリア認定<br>• IPS 拡張パッケージ（IPSEP v2.11）<br>• Firewall Collaborative Protection Profile Module（MOD_FW_v1.4e）<br>• Virtual Private Network Gateway Protection Profile Module（MOD_VPNGW_v1.1）<br><br>• FTD 6.4.*x* と FX-OS 2.6.*x* の連邦情報処理標準（FIPS）140-2<br>• 米国国防総省情報ネットワークの認定製品リスト（DoDIN APL） | |

| 機能 | 1010E | 1010 |
|---|---|---|
| | • FTD 7.0.*x* での IPv6（USGv6）の米国政府準拠：製品分類「NPP」の R1 プロファイルに基づく認定承認。<br><br>セキュリティ認定コンプライアンスを有効にする手順については、ご使用のソフトウェアのバージョンのコンフィギュレーションガイドの「Appliance Platform Settings」の章の「Security Certifications Compliance」トピックを参照してください。 | |

**コンソール ポート**

Firepower 1010 および 1010E には 2 つの外部コンソールポートがあり、1 つは標準の RJ-45 ポート、もう 1 つは USB ミニ B シリアルポートです。同時にアクティブにできるのは 1 個のコンソールポートだけです。ケーブルを USB コンソールポートに接続すると、RJ-45 ポートは非アクティブになります。反対に、USB ケーブルを USB ポートから外すと、RJ-45 ポートはアクティブになります。コンソールポートにはハードウェア フロー制御がありません。ターミナル サーバを使用してシリアル コンソール ポートから、またはコンピュータの端末エミュレーション プログラムから、CLI を使用してシャーシを設定できます。

- RJ-45（8P8C）ポートは、内部 UART コントローラにシグナリングする RS-232 をサポートします。RJ-45 コンソール ポートはリモート ダイヤルイン モデムをサポートしていません。必要に応じて、標準管理ケーブル（シスコ部品番号 72-3383-01）を使用して、RJ45 を DB9 接続に変換できます。
- ミニ USB タイプ B ポートは、外部コンピュータの USB ポートに接続できます。Linux および Macintosh システムでは、特別なドライバは不要です。Windows システムでは、USB ドライバ（software.cisco.com から入手可能）のダウンロードおよびインストールが必要です。Windows HyperTerminal の動作に影響を与えることなく、コンソールポートでの USB ケーブルの抜き差しが可能です。適切に終端シールドが施された、シールド付き USB ケーブルが推奨されます。USB コンソール ポートのボー レートは、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200 bps です。

（注） Windows オペレーティング システムでは、USB コンソール ポートを使用する前に、コンソール ポートに接続されたすべての PC に Cisco Windows USB コンソール ドライバをインストールする必要があります。

### 外部フラッシュ ストレージ

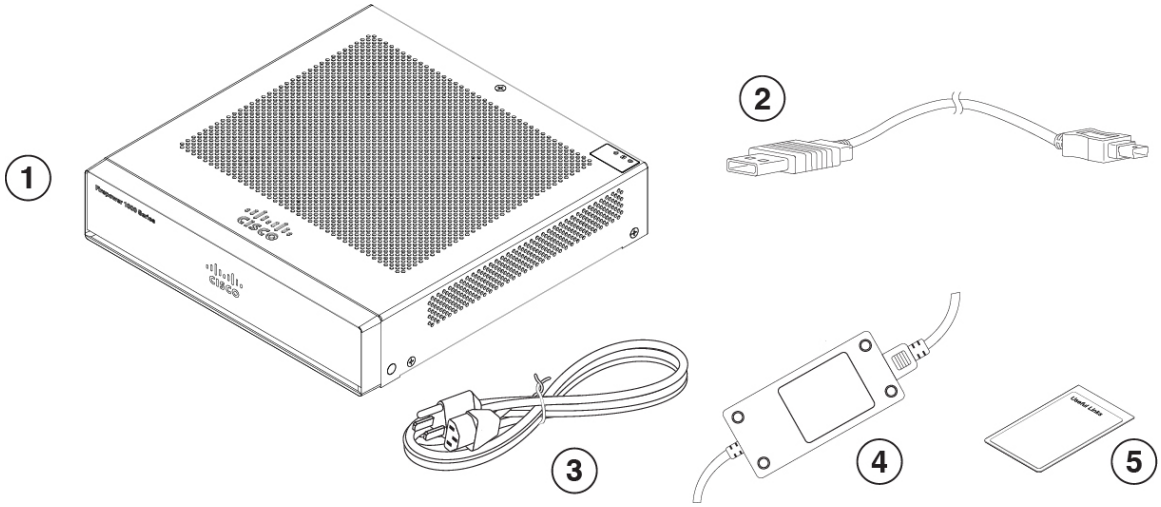
シャーシには、外部デバイスの接続に使用可能な標準 USB タイプ A ポートが 1 つあります。USB ポートは、最大 1 A（5 台の USB 電源ユニット）の 5 V の出力電力を供給できます。

- 外部 USB ドライブ（オプション）：USB タイプ A の外部ポートを使用して、データストレージデバイスに接続できます。外部 USB ドライブ識別子は *disk1* です。シャーシに電源が投入されると、接続された USB ドライブは disk1 としてマウントされ、ユーザが使用可能な状態になります。さらに、disk 0 に使用できるファイルシステムコマンドは disk1 でも使用可能です。これらのコマンドには、**copy**、**format**、**delete**、**mkdir**、**pwd**、**cd** などがあります。
- FAT-32 ファイル システム：Firepower 1010 は外部 USB ドライブに対して FAT-32 形式のファイル システムのみをサポートします。FAT-32 形式ではない外部 USB ドライブを挿入すると、システムのマウント プロセスが失敗し、エラー メッセージが表示されます。**format disk1:** コマンドを入力して該当のパーティションを FAT 32 にフォーマットし、再度 disk1 にマウントできます。ただし、データが失われる可能性があります。

# パッケージの内容

次の図は、Firepower 1010 および 1010E のパッケージの内容を示しています。内容は変更されることがあり、実際の内容には品目の追加や削減の可能性があることにご注意ください。

**図 *2 : Firepower 1010* および *1010E* パッケージの内容**



| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | シャーシ | **2** | USB コンソールケーブル（タイプ A からミニタイプ B）<br>部品番号 37-1977-01<br>オプション、注文した場合はパッケージに含まれています |
| **3** | 国別電源コード<br>オプション、注文した場合はパッケージに含まれています<br>承認されている電源コードのリストについては、115 W 電源用電源コードの仕様（20 ページ）および66 W および 150 W 電源モジュール用電源コードの仕様（25 ページ）を参照してください。 | **4** | 電源 |
| **5** | *Cisco Secure Firepower 1010*<br>このドキュメントには、デジタル ドキュメント ポータルを指す URL と QR コードが含まれています。このポータルには、製品情報ページ、ハードウェア設置ガイド、法規制と安全に関する情報ガイド、スタートアップガイド、およびゼロタッチ プロビジョニング ガイドへのリンクが含まれています。 | | — |

# QR コードステッカー

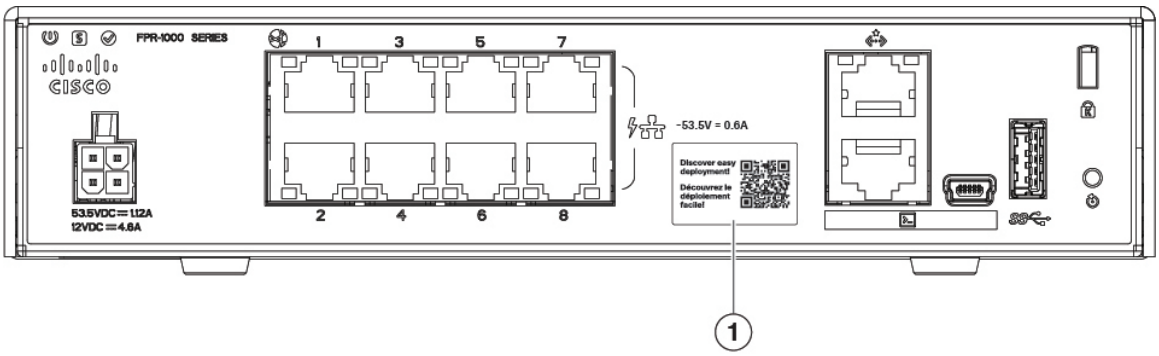
シャーシの背面パネルにある QR コードステッカーから、ゼロタッチプロビジョニング（ZTP）について説明した Security Cloud Control のドキュメントにアクセスできます。ZTP を使用すると、誰でも新しい Firepower 1010 をネットワークに接続できるようになるため、IT 部門はデバイスを Security Cloud Control にオンボードしてリモートで設定できます。Security Cloud Control は、Firepower Threat Defense（FTD）バージョン 6.7 以降をサポートしています。

次の図は QR コードステッカーを示しています。

図 *3 : QR* コードステッカー

次の図は、シャーシ背面パネル上の QR コードステッカーの配置を示しています。

図 *4 : Firepower 1010 QR* コードステッカー



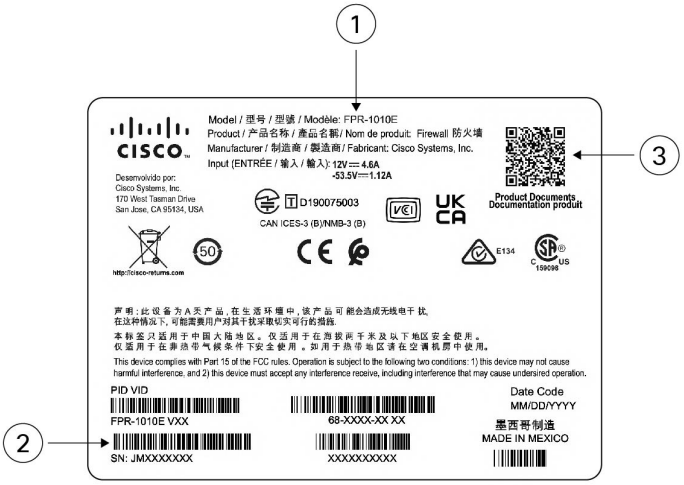

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | QR コードステッカー | | — |

# シリアル番号とデジタル ドキュメンテーションポータル QR コード

シャーシの下部にあるコンプライアンスラベルには、シャーシのシリアル番号、適合規格マーク、およびデジタル ドキュメンテーション ポータルの QR コードが記載されています。この QR コードで、スタートアップガイド、法規制および遵守に関するガイド、ゼロタッチ プロビジョニング ガイド、ハードウェア設置ガイドにアクセスできます。

次の図は、シャーシの底面にあるコンプライアンスラベルの例を示しています。

**図 *5:* シャーシのコンプライアンスラベル**

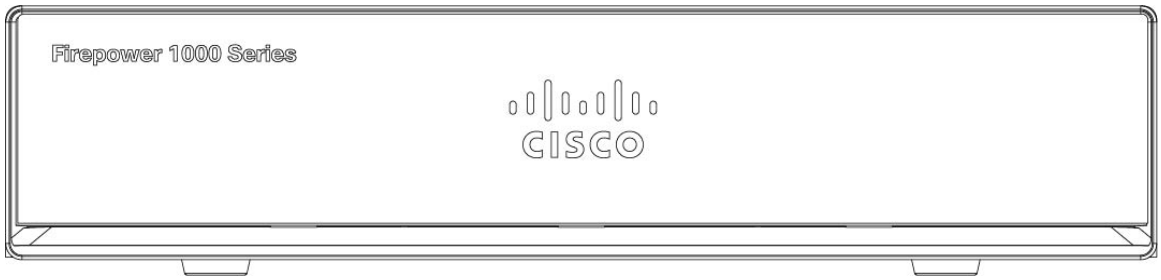



| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | シャーシのモデル番号 | **2** | シャーシのシリアル番号 |
| **3** | デジタル ドキュメンテーション ポータルの QR コード | | — |

# 前面パネル

次の図は、Firepower 1010 および 1010E の前面パネルを示しています。前面パネルには、コネクタや LED はありません。

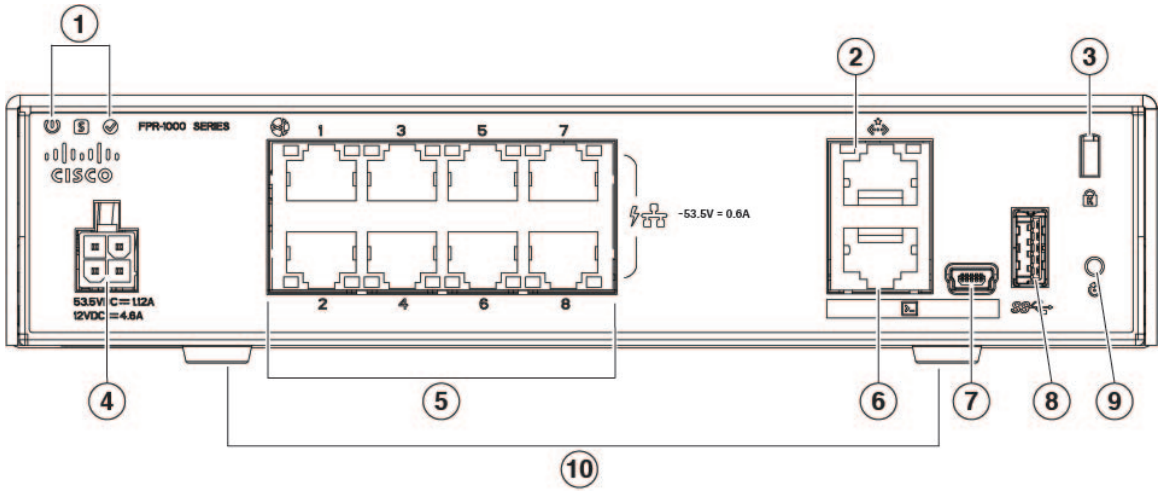
図 *6 : Firepower 1010* および *1010E* の前面パネル




# 背面パネル

次の図は、Firepower 1010 および 1010E の背面パネルを示しています。LED の説明については、ステータス LED （14 ページ）を参照してください。

図 *7 : Firepower 1010* および *1010E* の背面パネル



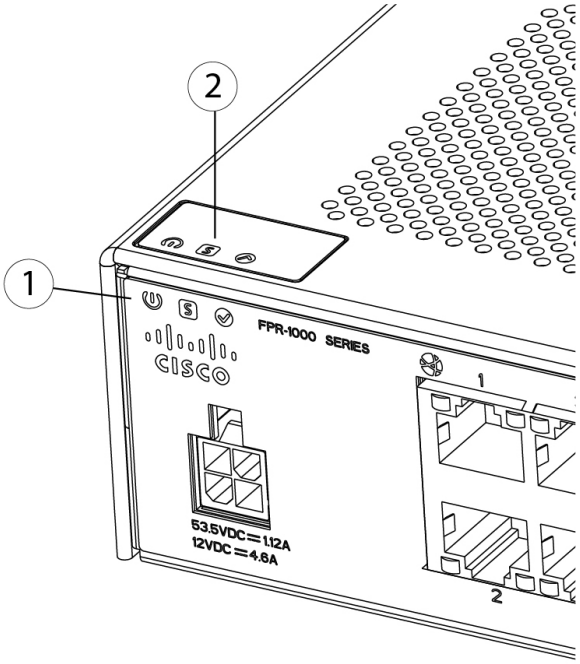

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | ステータス LED | **2** | 管理ポート |
| **3** | ロック スロット | **4** | 電源コード ソケット |
| **5** | ネットワーク データ ポート | **6** | コンソール ポート |
| **7** | USB ミニ B ポート | **8** | USB タイプ A ポート |
| **9** | リセットボタン | **10** | ゴム製の脚 |

# ステータス LED

LEDは、シャーシの背面から見て左上隅（シャーシの前面から見て、上記の背面の右上隅）にあります。ネットワーク ポートの LED は各ネットワーク ポートの上にあります。

次の図は、背面パネルとシャーシのカバーのステータス LED を示しています。

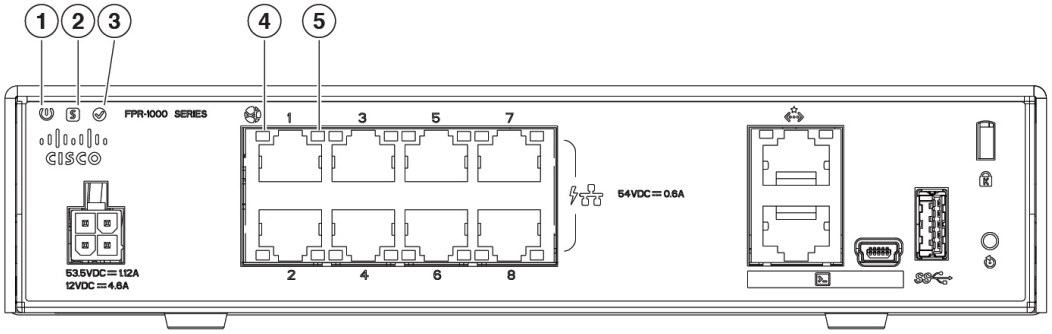
**図 *8*: ステータス *LED***




| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | シャーシ背面の電源、ステータス、およびアクティブ LED | **2** | シャーシ上部の電源、ステータス、およびアクティブ LED |

次の図は、Firepower 1010 および 1010E の背面パネルにあるすべての LED を示しています。後続の表は、各 LED の状態について説明しています。

図 *9 :* 背面パネル *LED*


1
2
3
4
5
FPR-1000 SERIES
CISCO
1
3
5
7
2
4
6
8
54VDC⎓0.6A
53.5VDC⎓1.12A
12VDC⎓4.6A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | **電源**<br>電源装置のステータス：<br>• 消灯：電源がオフになっている。<br>• 緑色：電源がオンになっている。 | 2 | **ステータス**<br>システムの動作状態<br>• 消灯：システムがまだ起動していない。<br>• 緑ですばやく点滅：システムが起動中です。<br>• 緑色：システムが正常に機能している。<br>• オレンジ色：次の1つ以上を示すクリティカル アラーム。<br>  • ハードウェアまたはソフトウェアコンポーネントの重大な障害<br>  • 過熱状態<br>  • 許容範囲外の電圧<br>• 緑でゆっくり点滅（5秒で2回）：クラウドに接続されています。<br>（注）<br>Security Cloud Control は FTD 6.7 以降で有効です。<br>• 緑とオレンジで点滅：クラウド接続障害。<br>• 緑：クラウド接続が解除されています。<br>（注）<br>Security Cloud Control の LED パターンは、ゼロタッチプロビジョニング（ZTP）に適用されます。詳しくは、『Cisco Secure Firewall Threat Defense with Cisco Security Cloud Control』を参照してください。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3 | **アクティブ**<br>フェールオーバー ペアの状態：<br>• 消灯：フェールオーバーは動作していない。<br>• 緑色：フェールオーバー ペアは正常に動作中。高可用性ペアのシャーシでない限り、LED は常に緑色に点灯する。<br>• オレンジ色：高可用性ペアのシャーシの場合、スタンバイ ユニットの LED はオレンジ色に点灯する。 | 4 | **ネットワーク**<br>ネットワーク ポートのステータス。<br>リンク ステータス（L）<br>• 消灯：リンクが存在しないか、ポートが使用されていない。<br>• 緑色：リンクが確立。<br>• 緑色の点滅：リンク アクティビティ。 |
| 5 | **ネットワーク**<br>ネットワーク ポートのステータス。<br>接続速度ステータス（S）<br>• 緑色の点滅：3 秒ごとに 1 回点滅 = 10 Mbps。<br>• 緑色の点滅：2 回の高速点滅 = 100 Mbps。<br>• 緑色の点滅：3 回の高速点滅 = 1000 Mbps。 | | — |

# ハードウェア仕様

次の表に、Firepower 1010E および 1010 のハードウェア仕様を示します。

**表 *2 : Firepower 1010* および *1010E* ハードウェア仕様**

| | **1010E** | **1010** |
|---|---|---|
| シャーシの寸法（高さ × 幅 × 奥行） | 4.62 X 19.94 X 20.50 cm（1.82 X 7.85 X 8.07 インチ） | |
| ラックマウントシェルフの寸法（高さ X 幅 X 奥行） | 115 W および 66 W 電源向け：7.77 X 44.2 X 50.04 cm（3.06 X 17.40 X 19.70 インチ）<br>150 W 電源向け：7.77 X 44.2 X 54.99 cm（3.06 X 17.40 X 21.65 インチ） | |
| シャーシの重量 | 1.36 kg（3 ポンド） | |

| | 1010E | 1010 |
|---|---|---|
| システム電源 | 30 W<br>シャーシに接続されているPoEデバイスは含まれません。電源の最大出力は55 Wです。60 WのPoE+電源も出力します。<br>（注）<br>シャーシに標準で付属している電源（部品番号341-100765-01）はPoE+をサポートしています。新しい66W電源もPoE+をサポートしています。<br>（注）<br>PoE+はFTDバージョン6.5およびASAバージョン9.13からサポートが開始されました。 | 30 W<br>（注）<br>標準の付属電源（部品番号341-100346-01）が新しい150 W電源に置き換わりました。 |
| 温度 | 動作：0 ～ 40°C（32 ～ 104°F）<br>海抜1000フィートごとに最大動作温度は1.5 °C低下します。<br>非動作時：-25 ～ 70 °C（-13 ～ 158 °F）（最大高度は40,000フィート）<br>（注）<br>Firepower 1010および1010Eにはファンがないため、システムの内部温度は動作温度よりも大幅に高くなります。 | |
| 湿度 | 動作時：90%<br>非動作時：10 ～ 90% | |
| 高度 | 動作時：0 ～ 3000 m（9843フィート）<br>非動作時：0 ～ 4570 m（15,000フィート） | |
| 音響ノイズ | 0 dBa | |

# 製品 ID 番号

次の表に、Firepower 1010Eおよび1010に関連付けられている現場で交換可能なPIDを示します。予備のコンポーネントは、ユーザ自身が注文および交換可能なコンポーネントです。内部

コンポーネントに障害が発生した場合は、シャーシ全体の返品許可（RMA）を得る必要があります。詳細については、Cisco Returns Portal を参照してください。

（注） Firepower 1010 および 1010E の PID のリストを表示するには、『Cisco Firepower Threat Defense Command Reference』[英語] または『Cisco ASA Series Command Reference』[英語] の **show inventory** コマンドを参照してください。

表 *3 : Firepower 1010* および *1010E*

| PID | 説明 |
|---|---|
| FPR1010-ASA-K9 | Cisco Firepower 1010 ASA デスクトップ アプライアンス |
| FPR1010E-ASA-K9 | Cisco Firepower 1010E ASA デスクトップ アプライアンス |
| FPR1010-NGFW-K9 | Cisco Firepower 1010 NGFW デスクトップ アプライアンス |
| FPR1010E-NGFW-K9 | Cisco Firepower 1010E NGFW デスクトップ アプライアンス |
| FPR1K-DT-ACY-KIT | Cisco Firepower 1010 および 1010E アクセサリ キット |
| PWR-DT-66WAC | Cisco Firepower 1010E 66 W AC 電源 |
| PWR-DT-66WAC= | Cisco Firepower 1010E 66 W AC 電源（予備） |
| PWR-DT-150W-AC | Cisco Firepower 1010 150 W AC 電源 |
| PWR-DT-150W-AC= | Cisco Firepower 1010 150 W AC 電源（予備） |
| FPR1K-DT-PWR-AC | Cisco Firepower 1010 および 1010E 115 W AC 電源 |
| FPR1K-DT-PWR-AC= | Cisco Firepower 1010 および 1010E 115 W および 66 W AC 電源（予備） |
| FPR1K-DT-RACK-MNT= | 115 W および 66 W AC 電源（予備）に使用する Cisco Firepower 1010 および 1010E ラックマウントキット |
| FPR1010-RACK-MNT= | 150 W AC 電源（予備）に使用する Cisco Firepower 1010 ラックマウントキット |

| PID | 説明 |
|---|---|
| FPR1K-DT-WALL-MNT= | Cisco Firepower 1010 および 1010E 壁面取り付けキット（予備） |
| FPR1K-DT-FIPS-KIT= | Cisco Firepower 1010 FIPS キット（予備） |

# 115 W 電源用電源コードの仕様

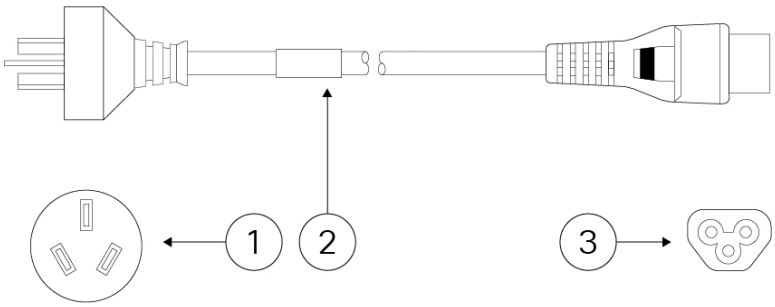
次の C5 タイプ電源コードは、115 W（FPR1K-DT-PWR-AC）電源をサポートします。各電源装置には個別の電源コードがあります。セキュリティアプライアンスとの接続には、標準の電源コードまたはジャンパ電源コードを使用できます。ラック用のジャンパ電源コードは、必要に応じて標準の電源コードの代わりに使用できます。

システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザーの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気の安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。

（注） 使用できるのは、シャーシに付属している認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードだけです。

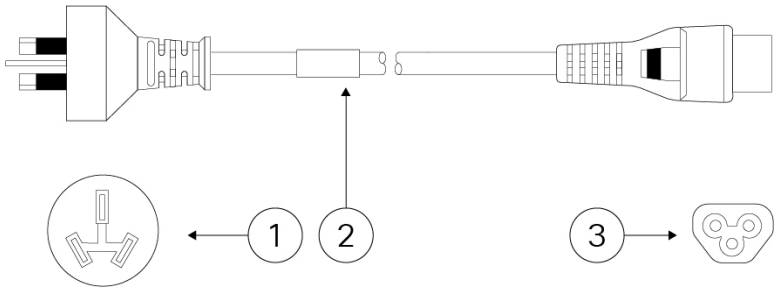
次の電源コードがサポートされています。

**図 *10*：アルゼンチン（*CAB-AC-C5-ARG*）**



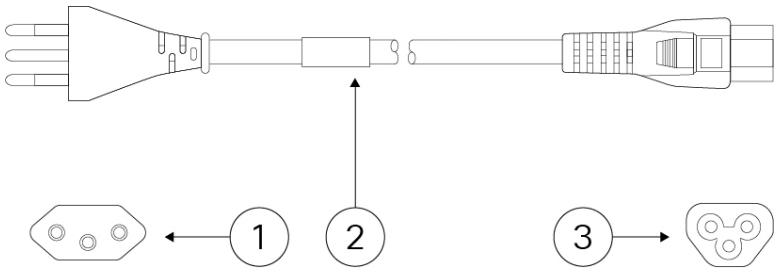

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：IRAM 2073 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *11* : オーストラリア（***CAB-AC-C5-AUS***）



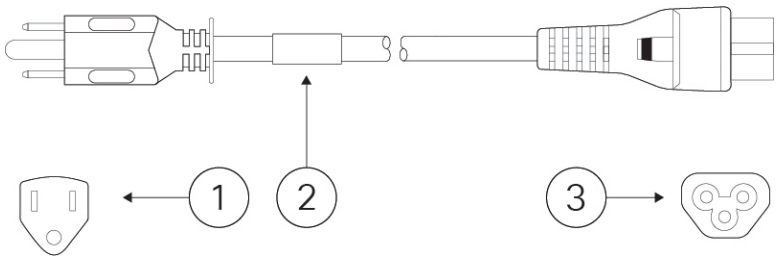

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：AUS 10S3 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *12* : ブラジル（***CAB-AC-C5-BRA***）



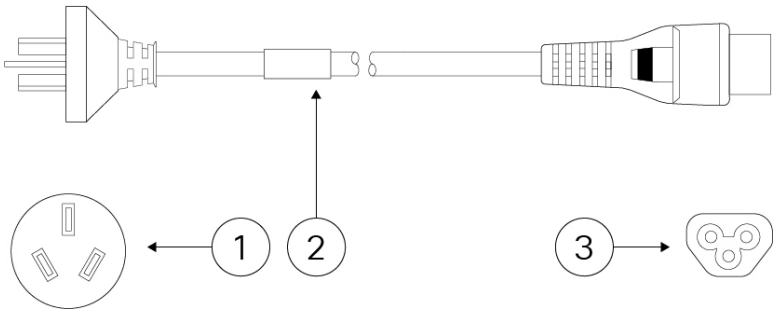

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：NBR 14136 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *13* : カナダ（***CAB-AC-C5***）



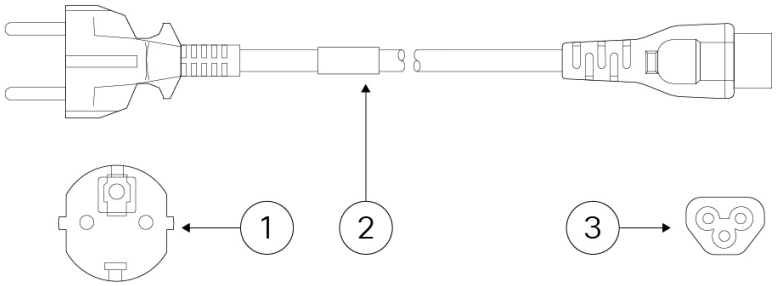

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：NEMA 5-15P | **2** | コード セット定格：2.5 A、125 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *14 :* 中国（***CAB-AC-C5-CHI***）



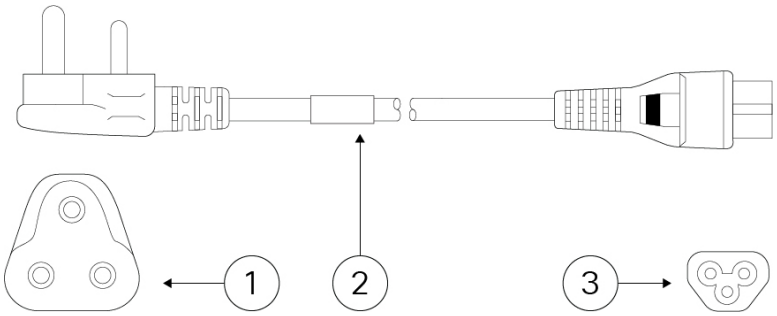

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：GB 2099.1 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *15 :* 欧州（***CAB-AC-C5-EUR***）



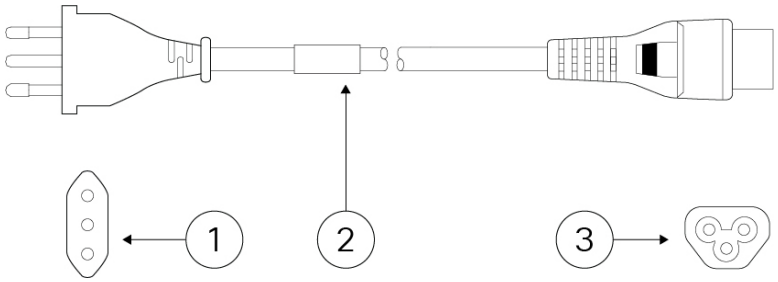

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：CEE 7 VII | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *16 :* インド（***CAB-AC-C5-IND***）



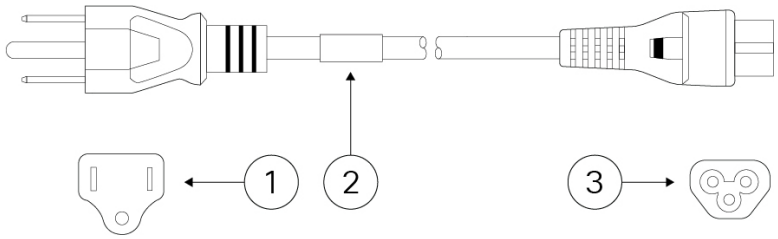

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：IS 1293 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *17 :* イタリア（***CAB-AC-C5-ITA***）



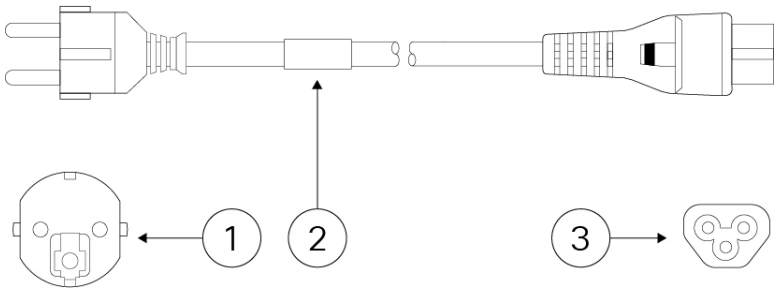

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：CEI 23-06/VII | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *18 :* 日本（***CAB-AC-C5-JAP***）



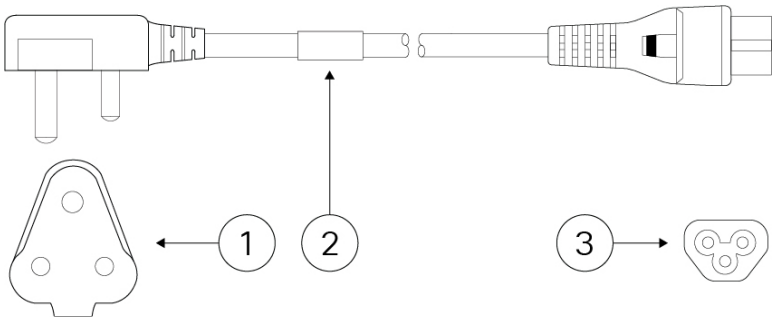

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：JIS C8303 | **2** | コード セット定格：3 A、125 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *19 :* 韓国（***CAB-AC-C5-KOR***）



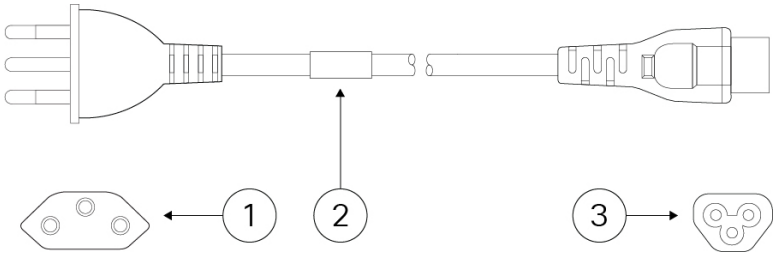

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：KSC 83205 | **2** | コードセット定格：3.0 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *20 :* 南アフリカ（***CAB-AC-C5-SAF***）



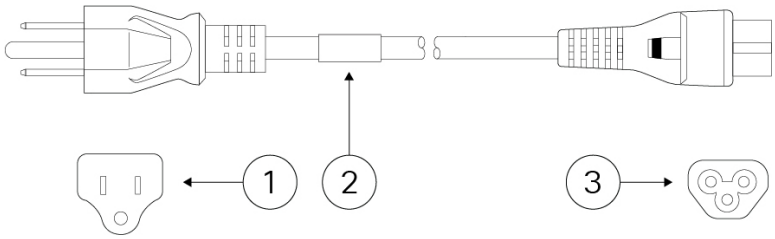

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：SABS 164-1 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *21 :* スイス（***CAB-AC-C5-SWI***）



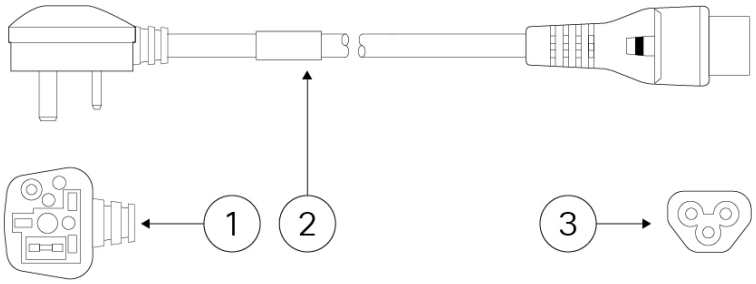

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：SEV 1011 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

図 *22 :* 台湾（***CAB-AC-C5-TWN***）




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：CNS 10917-2 | **2** | コード セット定格：2.5 A、125 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | |

図 *23*：英国（*CAB-AC-C5-UK*）




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：BS1363A/SS145 | **2** | コード セット定格：2.5 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C5 | | — |

# 66 W および 150 W 電源モジュール用電源コードの仕様

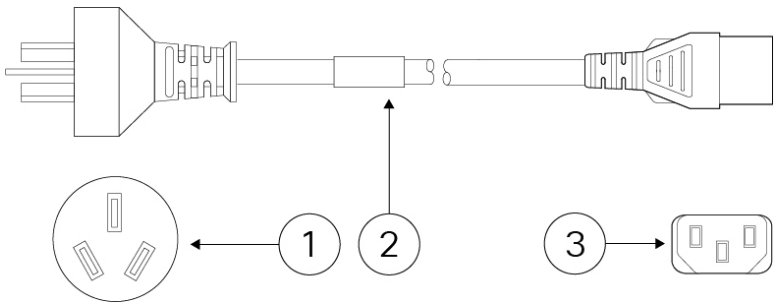
次の C13 タイプ電源コードは、66 W（PWR-DT-66WAC）および 150 W（PWR-DT-150W-AC）の電源をサポートします。各電源装置には個別の電源コードがあります。セキュリティアプライアンスとの接続には、標準の電源コードまたはジャンパ電源コードを使用できます。ラック用のジャンパ電源コードは、必要に応じて標準の電源コードの代わりに使用できます。

システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザーの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気の安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。

（注） 使用できるのは、シャーシに付属している認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードだけです。

次の電源コードがサポートされています。

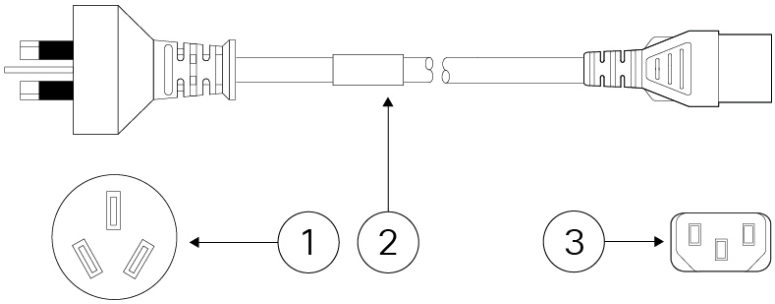
図 *24*：アルゼンチン（*CAB-ACR*）




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：VA2073 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |

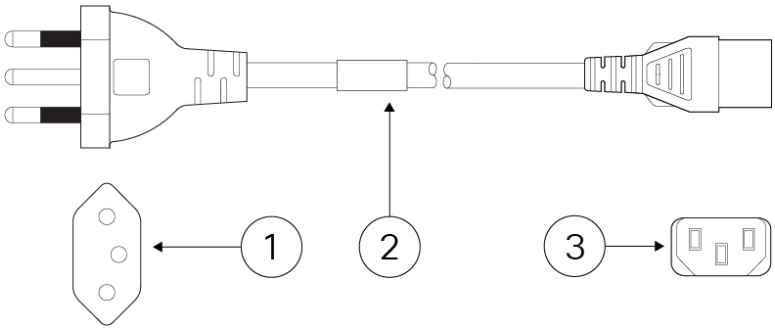
| | | | |
|---|---|---|---|
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *25 :* オーストラリア/ニュージーランド（***CAB-ACA***）



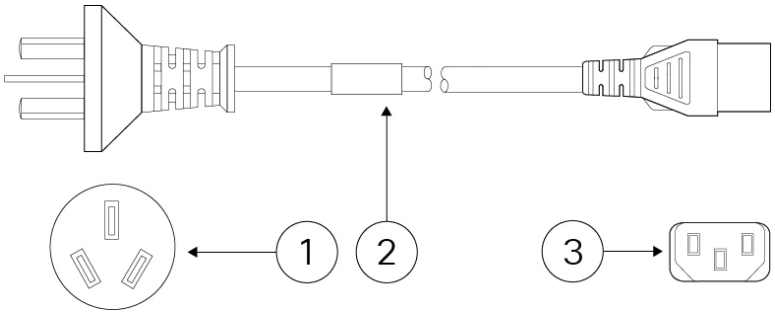

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：AU10LS3 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *26 :* ブラジル（***CAB-C13-ACB***）



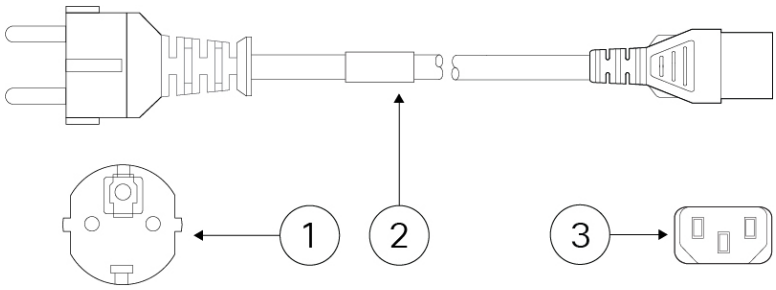

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：NBR 14136 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：EL 701B（EN 60320/C13） | | — |

図 *27 :* 中国（***CAB-ACC***）



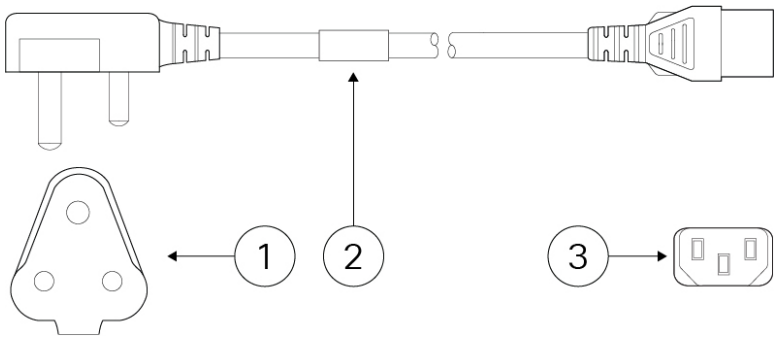

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：V3203C | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *28 :* 欧州（***CAB-ACE***）



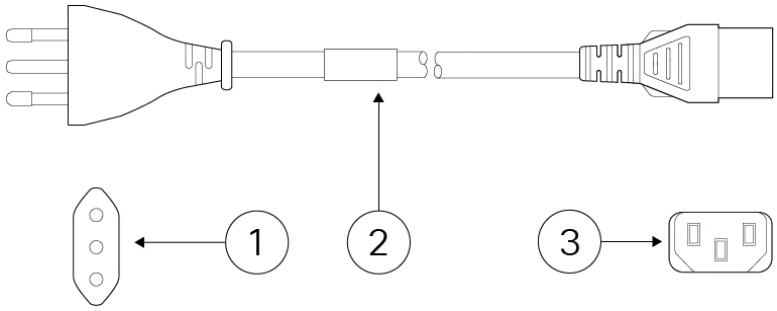

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：M2511 | **2** | コード セット定格：16 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *29 :* インド（***CAB-IND-10A***）



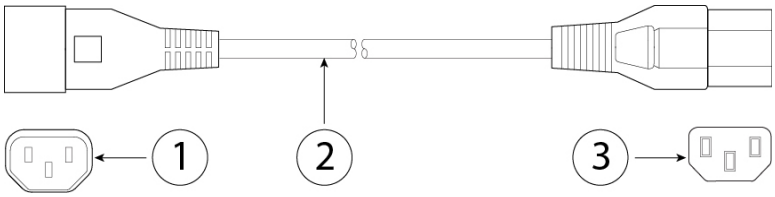

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：IA16A3-C | **2** | コード セット定格：16 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625BS-E | | — |

図 *30 :* イタリア（***CAB-ACI***）



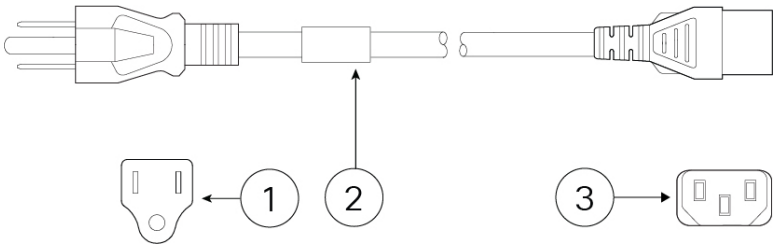

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：IT10S3 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *31 :* 日本（***CAB-C13-C14-2M-JP***）***PSE*** マーク



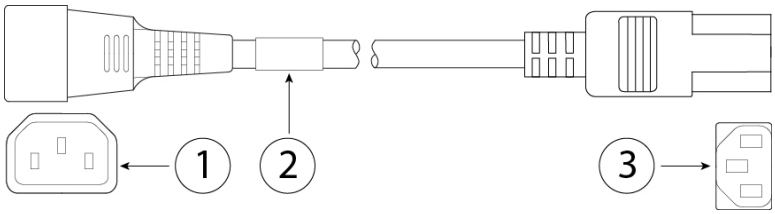

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | IEC 60320-2-2/E | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C13 | | コード長：2 m |

図 *32 :* 日本（***CAB-JPN-3PIN***）



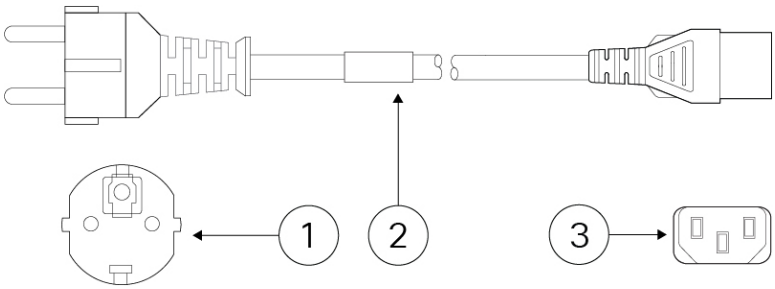

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：M744 | **2** | コード セット定格：12 A、125 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *33 :* ジャンパ（***CAB-C13-C14-2M***）



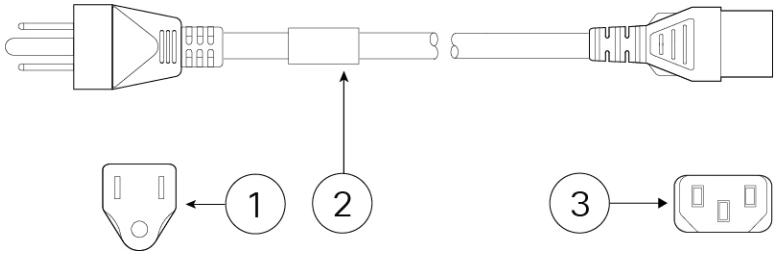

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | IEC 60320/C14G | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C13 | | コード長：2.5 m |

図 *34 :* 韓国（***CAB-AC-C13-KOR***）



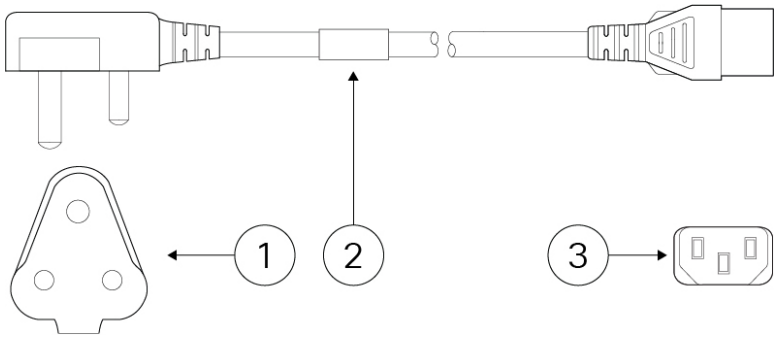
| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：M2511 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *35*：北米（***CAB-AC***）



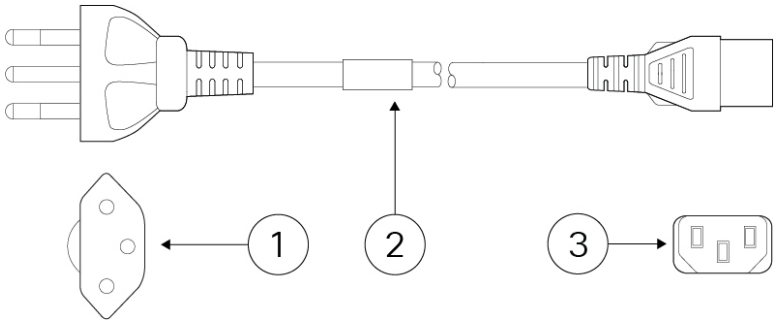

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：PS204 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | |

図 *36*：南アフリカ（***AIR-PWR-CORD-SA***）




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：SA16A | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

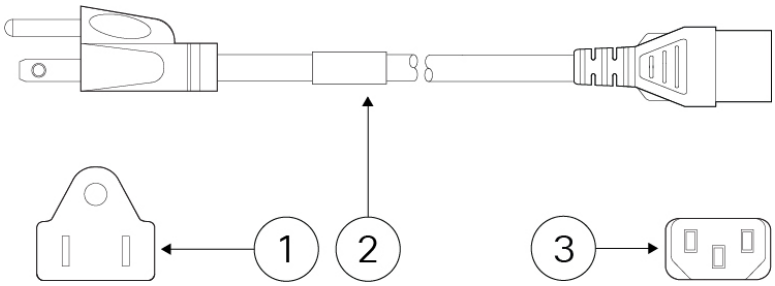
図 *37*：スイス（***CAB-ACS***）




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：SW10ZS3 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |

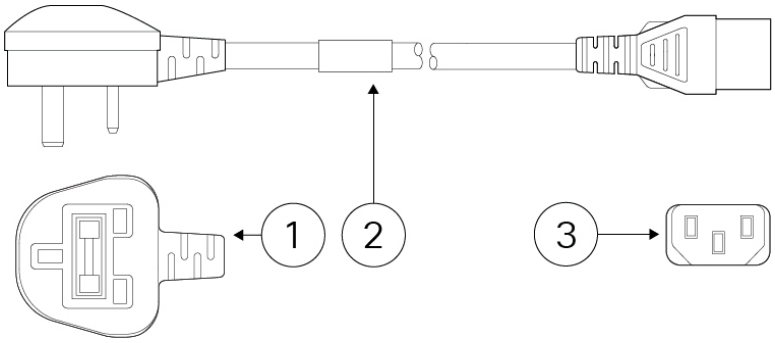
| | | | |
|---|---|---|---|
| **3** | コネクタ：V1625 | | — |

図 *38*：台湾（***CAB-ACTW***）

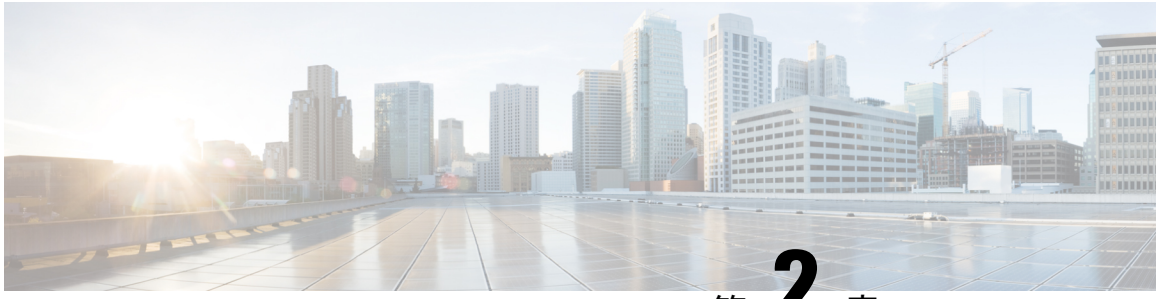



| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：EL 302（CNS10917） | **2** | コード セット定格：10 A、125 V |
| **3** | コネクタ：EL 701（EN 60320/C13） | | — |

図 *39*：英国（***CAB-ACU***）




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | プラグ：3P BS 1363 | **2** | コードセット定格：10 A、250 V |
| **3** | コネクタ：IEC 60320/C13 | | — |



第 2 章

# インストールの準備


- 設置に関する警告 （31 ページ）
- シャーシの配置 （33 ページ）
- 安全に関する推奨事項 （34 ページ）
- 電気製品を扱う場合の注意 （34 ページ）
- 静電破壊の防止 （35 ページ）
- 設置場所の環境 （35 ページ）
- サイトの考慮事項 （35 ページ）
- 電源モジュールに関する考慮事項 （36 ページ）
- ラックの構成に関する考慮事項 （36 ページ）


## 設置に関する警告

シャーシを設置する前に、必ず『Regulatory Compliance and Safety Information』[英語] のドキュメントをお読みください。

次の警告を記録しておいてください。

警告 **ステートメント 1071 -** 警告の定義

安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の冒頭に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

警告 **ステートメント 1005**—回路ブレーカー

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。この保護装置の定格が 20 A、120 V、16 A、250 V 以下であることを確認します。

警告 **ステートメント 1015**—バッテリの取り扱い

火災、爆発、または可燃性液体やガス漏れのリスクを軽減するために。

- 交換用バッテリは元のバッテリと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。
- 分解、粉砕、破壊、鋭利な道具を使った取り外し、外部接点のショート、火中への廃棄は行わないでください。
- バッテリがゆがんだり、膨らんだりしているときは使用しないでください。
- 60 ℃ を超える温度でバッテリを保管または使用しないでください。
- 69.7 kPa よりも低い低気圧環境でバッテリを保管または使用しないでください。

警告 **ステートメント 1017 -** 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。

警告 **ステートメント 1024 -** アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

警告 **ステートメント 1029 -** ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3 つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けた状態で運用してください。

警告 **ステートメント 1074 -** 地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

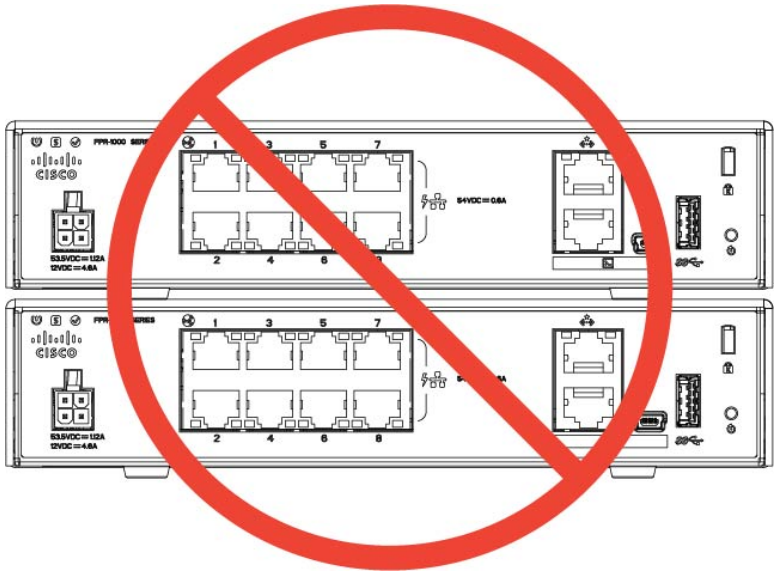
警告 **ステートメント 9001 -** 製品の廃棄

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。

# シャーシの配置

シャーシのデスクトップマウントの詳細については、「シャーシのデスクトップマウント（40 ページ）」を参照してください。

**図 *40 :* シャーシのデスクトップ マウント**



注意 シャーシの上に別のシャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。

シャーシの配置方法としてデスクトップやクローゼットシェルフ、壁面など選択する際には、以下を考慮する必要があります。

- 必ずシャーシが邪魔にならない場所を選び、ぶつかったり、誤ってずれたりしないようにしてください。シャーシには、設置場所に密着しないようにするために底部に「脚」があり、隙間や周囲から適切な空気循環ができるようになっています。シャーシを密接した状

態で囲ったり、他の物と密集させて配置したりしないでください。適切な空気循環が妨げられる可能性があります。

- 電源コード、イーサネット ケーブル、およびコンソール ケーブルを容易にシャーシまで配線でき、十分なたるみと巻き込みを確保できる場所を選択して、不用意に抜けたりしないようにしてください。

# 安全に関する推奨事項

これらの安全に関する注意事項を遵守してください。

- 設置作業中および作業後は、設置場所を整理し、埃のない状態に保ってください。
- 工具は、通行の邪魔にならない場所に置いてください。
- ゆったりとした衣服やイヤリング、ブレスレット、ネックレスなどの装飾品は身につけず、シャーシに引っかかることがないようにしてください。
- 目が危険にさらされる状況で作業する場合は、保護眼鏡を着用してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 重量が 1 人で扱える範囲を超えているものを、単独で持ち上げないでください。

# 電気製品を扱う場合の注意

**警告** シャーシの作業を行う前に、必ず電源コードを抜いてください。

シャーシを設置する前に、必ず『Regulatory Compliance and Safety Information』[英語] のドキュメントをお読みください。

電気機器を取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- シャーシ内部の作業を開始する前に、作業を行う部屋の緊急電源遮断スイッチの場所を確認しておいてください。電気事故が発生した場合は、ただちにその部屋の電気を切ってください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 電源が切断されていると思い込まずに、必ず確認してください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コード、すり減った電源コード、保護アースの不備などがないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。
- シャーシは、指定された定格電力の範囲内で、製品の使用説明書に従って使用してください。

- シャーシに搭載されている AC 入力電源装置には 3 線式の電気コードが付属しており、そのアース端子付きのプラグはアース端子付きの電源コンセントにしか差し込めないようになっています。これは大変重要な安全メカニズムです。装置のアースは、地域および国内の電気規定に適合させる必要があります。

# 静電破壊の防止

電子部品の取り扱いが不適切な場合、ESD が発生し、機器の損傷や電気回路の破損を引き起こす可能性があります。その結果、機器の断続的障害または完全な故障を引き起こします。

部品の取り外しまたは交換を行うときは、必ず静電気防止手順に従ってください。シャーシが電気的にアースに接続されていることを確認してください。静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。アースクリップをシャーシフレームの塗装されていない表面に止めて、静電気が安全にアースに流れるようにします。静電放電による損傷とショックを防止するには、リストストラップとコードを効果的に作用させる必要があります。リストストラップがない場合は、シャーシの金属部分に触れて、身体を接地してください。

安全を確保するために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ～ 10 MΩ である必要があります。

# 設置場所の環境

シャーシはデスクトップや壁、ラックに設置できます。システムを正常に動作させるには、シャーシの位置、機器ラックまたは配線室の配置が非常に重要です。装置間の間隔が狭すぎると、換気が十分に行われず、またパネルに手が届きにくくなるため、システムの誤動作や停止の原因になります。また、不適切な配置によって、シャーシのメンテナンスも困難になります。

**警告** いかなる場合においても、決してシャーシの上に別のシャーシを積み重ねないでください。積み重ねると、シャーシの冷却用空気の流れが阻害され、ハードウェア損傷の原因になります。

物理的仕様については、ハードウェア仕様 （17 ページ）を参照してください。

機器故障を予防し、環境に起因するシャットダウンを防ぐため、注意して設置場所のレイアウトや機器の配置を検討してください。既存の装置で停止やエラーが頻繁に起きている場合にも、この考慮事項を参考にすることにより、障害の原因を突き止め、今後問題が起きないように予防できます。

# サイトの考慮事項

以下の情報を考慮することで、シャーシに適した動作環境を確保し、環境による装置の故障を防ぐことができます。

- 電子機器は放熱します。空気の循環が不十分な場合、周辺の温度が上昇し、その結果、適切な動作温度まで装置を冷却できなくなることがあります。システムを使用する室内で十分に換気が行われるようにしてください。
- シャーシカバーが完全に取り付けられていることを確認してください。シャーシは内部を冷却用の空気が適切に流れるように設計されています。シャーシが開いていると、空気が漏れて、内蔵部品に冷却用の空気が行き渡らなくなったり、空気の流れが妨害されることがあります。
- 常に静電気防止手順に従い、機器の損傷を防いでください。静電放電による損傷によって、即時または断続的な機器障害が発生する可能性があります。

# 電源モジュールに関する考慮事項

シャーシの電源の詳細については、「機能 （1 ページ）」および「ハードウェア仕様 （17 ページ）」を参照してください。

シャーシを設置する際には、以下のことを考慮してください。

- シャーシを設置する前に、設置場所の電源を調べ、スパイクやノイズがないかどうかを確認してください。必要に応じて電源調整器を設置し、アプライアンス入力電圧にて適切な電圧および電力レベルを確保してください。
- 設置場所で適切にアースし、雷や電力サージによる損傷を防止してください。
- シャーシでは、ユーザが動作範囲を選択できません。シャーシの正確なアプライアンス入力所要電力については、そのラベルを参照してください。
- シャーシには複数の種類の AC 入力電源コードを使用できます。設置場所に適したタイプを使用してください。
- できるだけ、無停電電源装置を使用してください。

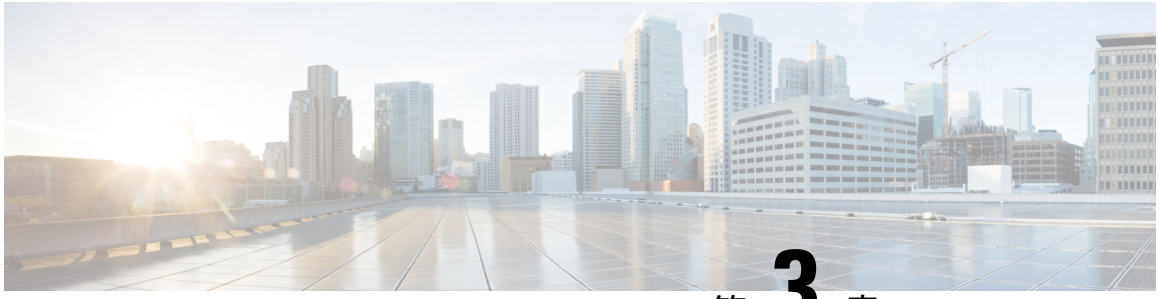
# ラックの構成に関する考慮事項

シャーシのラックマウント手順については、115 W または 66 W 電源付きシャーシのラックマウント （44 ページ）を参照してください。

ラックの構成を決めるときは、次のことを考慮してください。

- 開放型ラックにシャーシをマウントする場合、ラックのフレームで吸気口や排気口をふさがないように注意してください。
- 閉じる形式の前面扉および背面扉がラックにある場合は、適切なエアーフローを確保するため、穴あき部分（全体の 65 %）が扉の上部から下部まで均一に分散している必要があります。

- 閉鎖型ラックに十分な通気があることを確認してください。各シャーシで熱が発生するため、ラック内に装置を詰め込みすぎないように注意してください。冷気が回るように、閉鎖型ラックにはルーバーが付いた側面とファンが必要です。
- 閉鎖型ラックの上部に換気用ファンが付いている場合には、ラックの下段に設置した装置の熱が上昇し、上段の装置の吸気口から入り込む可能性があります。ラック下段の装置に対して、十分な換気が行われるようにしてください。
- バッフルは吸気から排気を分離するときに役立ちます。また、シャーシ内に冷気を取り込むためにも役立ちます。隔壁は、シャーシ内に冷気を行き渡らせるためにも有効です。隔壁の最適な取り付け位置は、ラック内の空気がどのように流れるかによって異なります。



第 3 章

# シャーシの取り付け


- シャーシの開梱と確認 （39 ページ）
- シャーシのデスクトップ マウント （40 ページ）
- シャーシの壁面取り付け （41 ページ）
- 115 W または 66 W 電源付きシャーシのラックマウント （44 ページ）
- 150 W 電源付きシャーシのラックマウント （49 ページ）


## シャーシの開梱と確認

（注） シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。破損が原因でシャーシを返送する必要がある場合に備えて、輸送用の箱を保管しておいてください。

シャーシで標準装備になっている項目の一覧については、パッケージの内容 （9 ページ）を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** 段ボール箱からシャーシを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。

**ステップ 2** カスタマー サービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。

**ステップ 3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマー サービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。

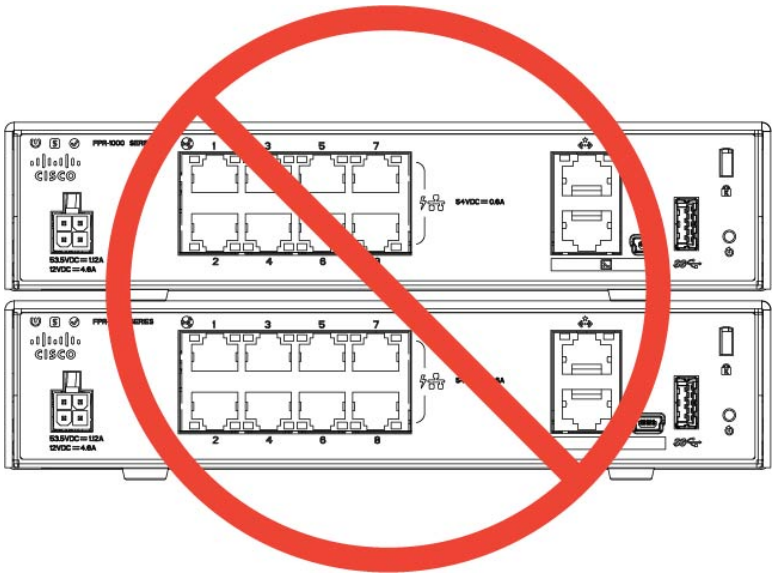
- 発送元の請求書番号（梱包明細を参照）
- 破損している装置のモデルとシリアル番号
- 破損状態の説明

- 破損による設置への影響

# シャーシのデスクトップ マウント

シャーシをデスク上に水平に置くことにより、デスクトップにマウントできます。シャーシの上方 2.5 cm（1 インチ）以内や、両側面および背面から 1.3 cm（0.5 インチ）以内に、冷却の妨げになる遮蔽物や障害物がないようにしてください。シャーシに付属のゴム脚を取り外さないでください。それらも、適切な冷却のために必要です。

**図 *41 :* シャーシのデスクトップ マウント**



**注意** シャーシの上に別のシャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。

### 次の作業

FIPS 不透明シールドを取り付ける必要がある場合は、FIPS 不透明シールドの取り付け （61 ページ） を参照してください。

『Cisco Firepower 1010 Getting Started Guide』[英語] に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。

# シャーシの壁面取り付け

オプションの壁面取り付けキットを購入できます。シャーシは、左側、右側、または背面パネル側を上にして壁面に取り付けることができます。壁面取り付けブラケットを使用して、壁面の取り付け穴の位置にマークをつけます。壁面取り付けブラケットは 19.512 x 15.24 cm（7.682 x 6 インチ）です。シャーシを取り付ける壁には 2 つのレベルのマークをつける必要があります。垂直方向（背面パネルが上）の場合、穴は 17.338 cm（6.826 インチ）離して配置する必要があります。横方向の場合、穴は 5.154 インチ離してください。

壁面取り付けキット（部品番号 69-100647-01）には、次の品目が含まれています。

- 壁面取り付けブラケット（部品番号 700-118506-01）
- M3 X 6 mm プラスネジ 3 本（部品番号 48-0460-01）
- #6 X 1¼ インチプラスネジ 2 本（部品番号 48-2289-01）
- #8 壁面用ネジ付きアンカーキット（部品番号 51-4718-01）

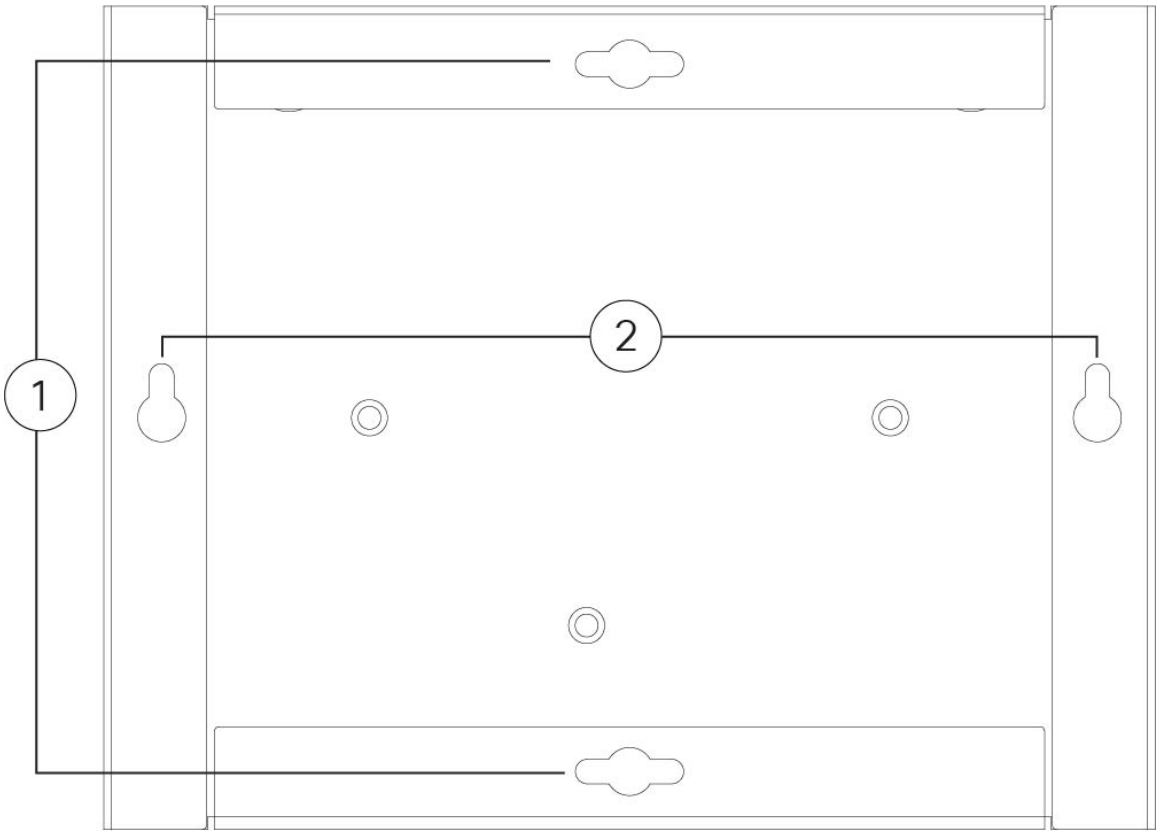
シャーシを壁に取り付けるには、次の手順に従います。

## 手順

**ステップ 1** 方向（左側、右側、または背面パネル側を上）とシャーシの壁面上の位置を選択します。

**ステップ 2** 鉛筆、ルーラー、水準器を使用して、2 本の取り付けネジの位置にマークをつけます（#6 X 1¼ インチ）。壁面取り付けブラケット自体を使用して、上部の穴または側面の穴のいずれかの位置にマークをつけることができます。

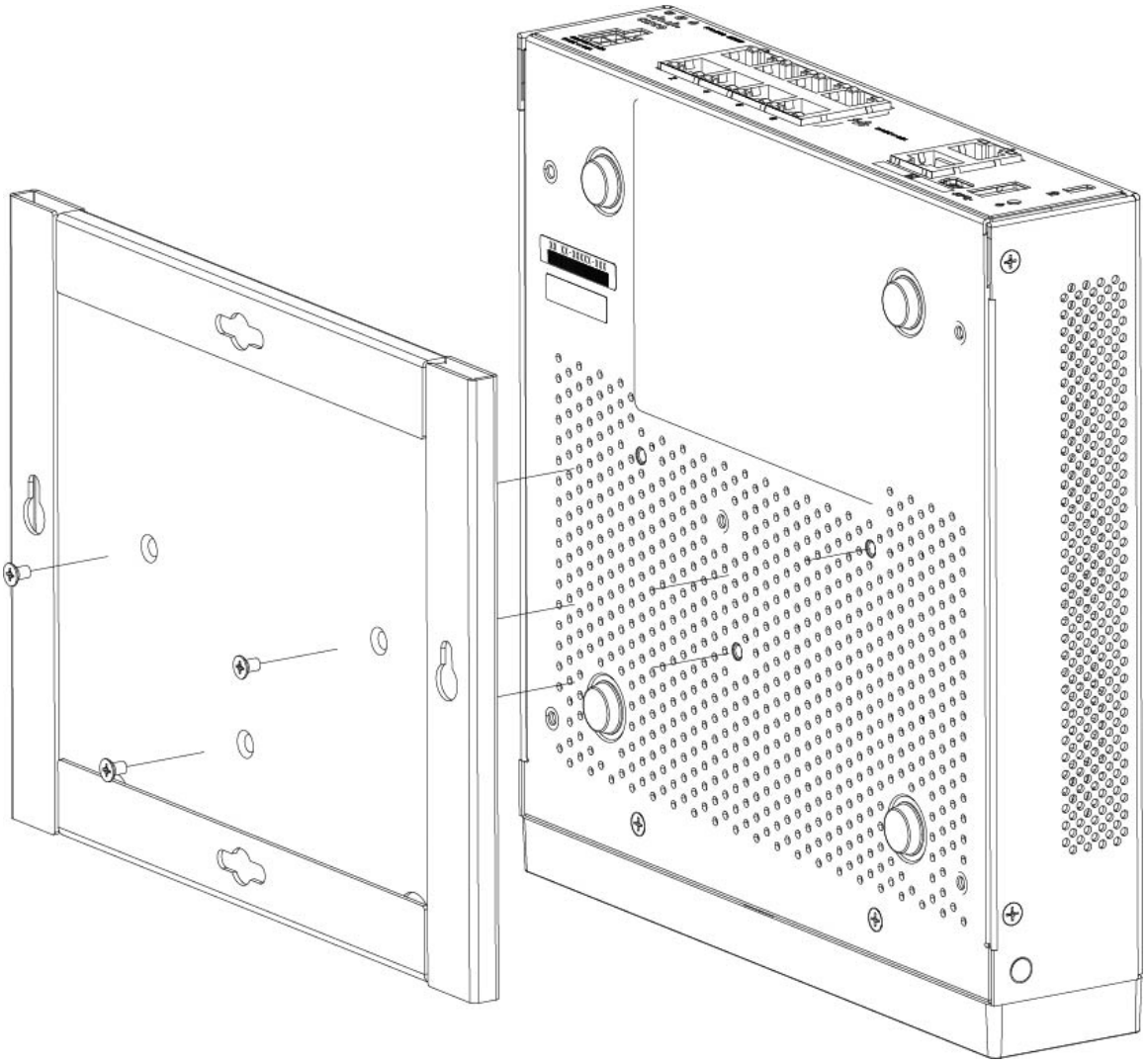
図 *42 :* 壁面取り付けブラケット




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 水平方向の設置 | **2** | 垂直方向の設置 |

**ステップ 3** M3 X 6 mm プラスネジ 3 本を使用して、壁面取り付けブラケットをシャーシに取り付けます。

図 *43 :* シャーシへの壁面取り付けブラケットの取り付け



**ステップ 4** #6 X 1¼ インチネジ 2 本を使用してスタッドにドリルで穴をあけるか、乾式壁面キットのアンカー（#8 壁面用ネジ）を使用して、乾式壁に取り付けます。

木材やシート メタルなど、乾式壁以外にシャーシを取り付ける場合は、アンカーが不要なことがあります。

**ステップ 5** ステップ 2 でつけた壁の各マークの位置にドリルで穴をあけます。

これらの穴は、使用しているアンカーの直径よりわずかに小さくする必要があります。推奨されるドリル穴のサイズは 3/16 インチです。

**ステップ 6** 必要に応じてアンカーを穴に挿入し、しっかり固定されていることを確認します。

**ステップ 7** 各ネジをアンカーに締め込み、突き出しが約 1/4 インチになるまで回します。

**ステップ 8** シャーシを持ち上げ、アンカーのネジ位置に壁面取り付けブラケットの底の穴を合わせてシャーシを壁側に移動し、ネジの頭が壁面取り付けブラケット内に入ったらシャーシを下にスライドしてネジに乗せます。

**注意**
背面パネルを下向きにしてシャーシを取り付けないでください。この方向はサポートされていません。

**ステップ 9** 壁面取り付け器具からシャーシを取り外すには、壁面に取り付けられたシャーシを壁面からスライドさせて、シャーシの下部から 3 本のネジを外します。

---

**次のタスク**

シャーシに FIPS カバーを取り付ける場合は、FIPS 不透明シールドの取り付け （61 ページ）の手順に従います。

『Cisco Firepower 1010 Getting Started Guide』[英語] に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。

# 115 W または 66 W 電源付きシャーシのラックマウント

**注意** このラックシェルフの手順は、115 W または 66 W 電源を使用する 1010 および 1010E 向けです。1010 用の 150 W 電源については、150 W 電源付きシャーシのラックマウント （49 ページ）を参照してください。

ラックマウントシェルフは 2 RU ラックに収まります。ラックマウントシェルフは 3.06 X 17.40 X 19.70 インチ（高さ X 幅 X 奥行）です。ラックマウントキット（800-107605-01）には、次の品目が含まれています。

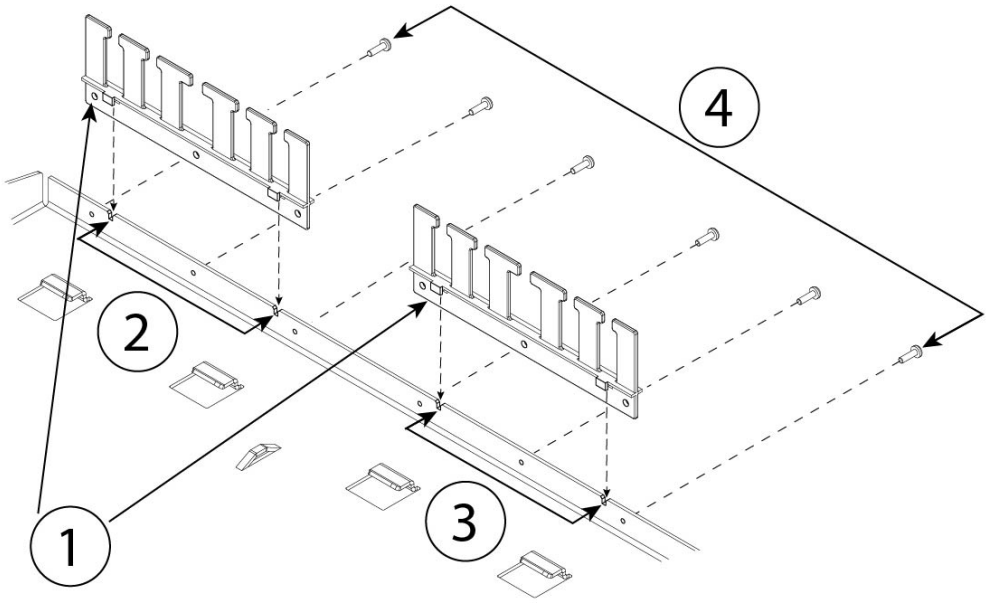
（注） シャーシをラックに固定するために使用できる 4 本一組のネジが 2 セット同梱されています。ラックに合うネジを選択してください。

- ラックシェルフ（部品番号 700-122662-01）
- スライド式ラックトレイ 2 個（部品番号 800-107648-01）
- ケーブルガイド 2 個（部品番号 700-01663-01）
- M3 X 7 mm プラスネジ 12 本（部品番号 48-1921-01）。これらのネジを使用してケーブルガイドを取り付けて、ラックシェルフをシャーシに固定します。
- 12-24 X 0.75 インチプラスネジ 4 本（部品番号 48-0440-01）。ラックタイプに応じてこれらのネジを使用し、スライド式ラックトレイをラックに固定します。
- 10-32 X 0.75 インチプラスネジ 4 本（部品番号 48-0441-01）。ラックタイプに応じてこれらのネジを使用し、スライド式ラックトレイをラックに固定します。

## 手順

**ステップ 1** ラックシェルフにケーブルガイドを取り付けます。

**図 44 : ラックシェルフフランジへのケーブルガイドの取り付け**




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | ケーブルガイド 2 個（部品番号 700-01663-01） | **2** | 左側ケーブル ガイド ラック シェルフの切り欠き |
| **3** | 右側ケーブル ガイド ラック シェルフの切り欠き | **4** | 12 本の M3 X 7 mm プラスネジのうち 6 本（部品番号 48-1921-01） |

a) ケーブルガイドをラックシェルフフランジの切り欠きに合わせます（上の図を参照）。

b) ラックシェルフの背面で、12 本の M3 X 7 mm プラスネジのうち 6 本（部品番号 48-1921-01）を使用して、左右のケーブルガイドを取り付けます。

（注）
ラックシェルフの背面からネジを取り付けます。

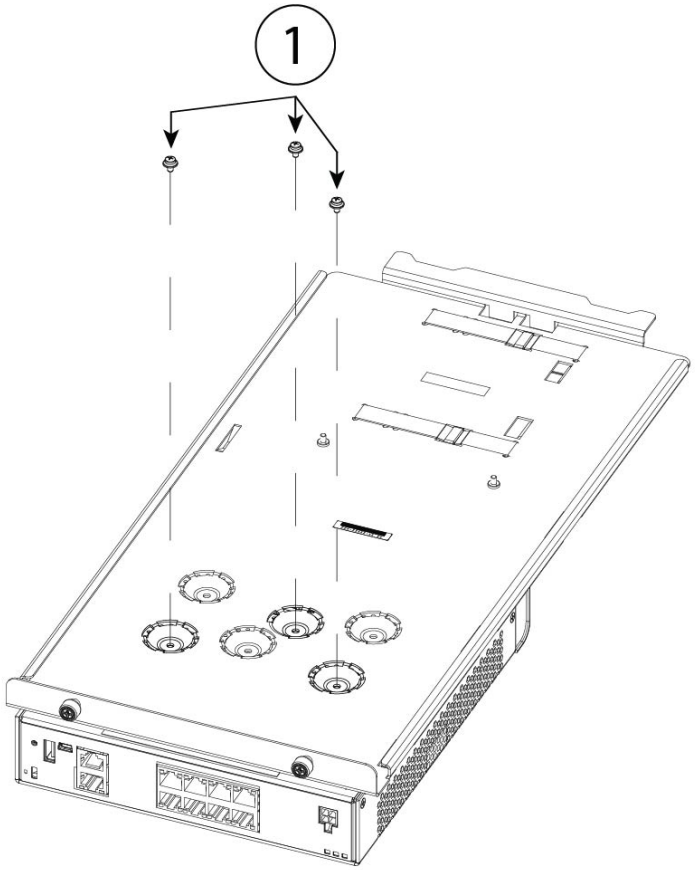
c) ラックシェルフを脇に置きます。手順 2 に進み、スライド式ラックトレイをシャーシに取り付けます。

手順 8 の図は、ケーブルガイドが取り付けられたラックシェルフを示しています。

**ステップ 2** 大きな安定した作業領域で、上面を下向きにしてシャーシを配置します

**ステップ 3** スライド式ラックトレイを反転し、シャーシの上に配置します。正面に向いた前面または背面パネルを使用してシャーシを取り付けることができます。

図 *45 :* シャーシへのスライド式ラックトレイの取り付け




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 12 本の M3 X 7 mm ネジのうち 3 本（部品番号 48-1921-01） | | — |

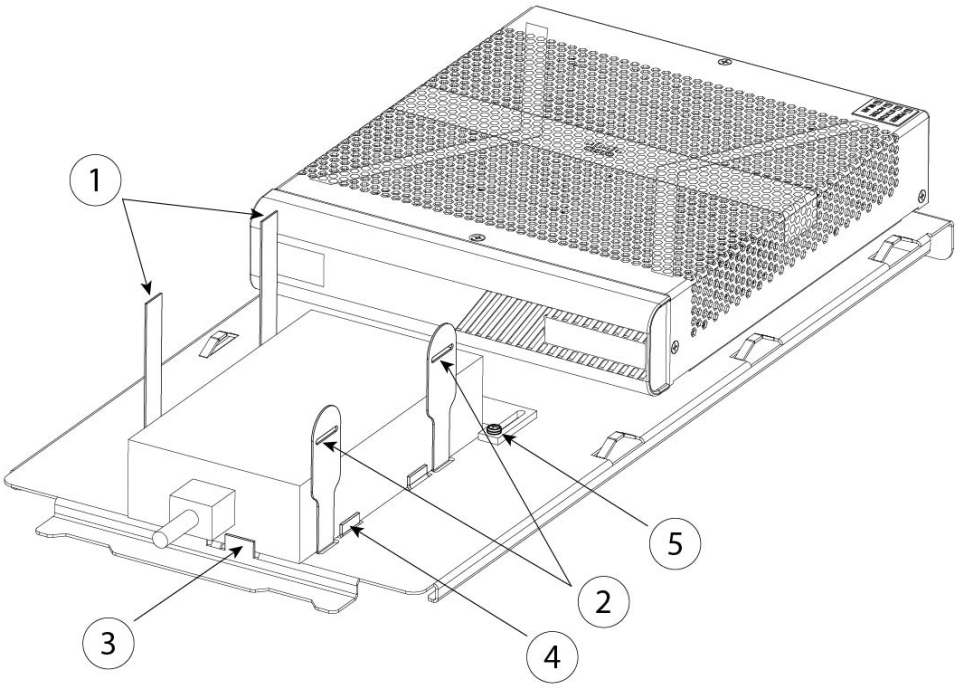
**ステップ 4** シャーシとスライド式ラックトレイの位置を調整して、スライド式ラックトレイシェルフの底の窪みにある 3 つの取り付け穴とシャーシの下部の取り付け穴を揃えます。

**ステップ 5** 3 本の M3 X 7 mm ネジを締めて、シャーシをスライド式ラックトレイの所定の位置に固定します（上の図を参照）。

**ステップ 6** 右側面を上にしてスライド式ラックトレイを慎重に回転させます。

**ステップ 7** シャーシ背面のスライド式ラックトレイに電源装置を取り付けます。

図 *46 :* スライド式ラックトレイへの電源装置の取り付け




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 電源装置用マジックテープストラップ | **2** | 電源装置用マジックテープストラップ |
| **3** | 電源装置止め具 | **4** | 電源装置止め具 |
| **5** | 背面側滑り止めとネジ（滑り止めのネジ2本中の 1 本） | | — |

a) マジックテープストラップを緩め、シャーシ背面のスライド式ラックトレイに電源装置を設置します。

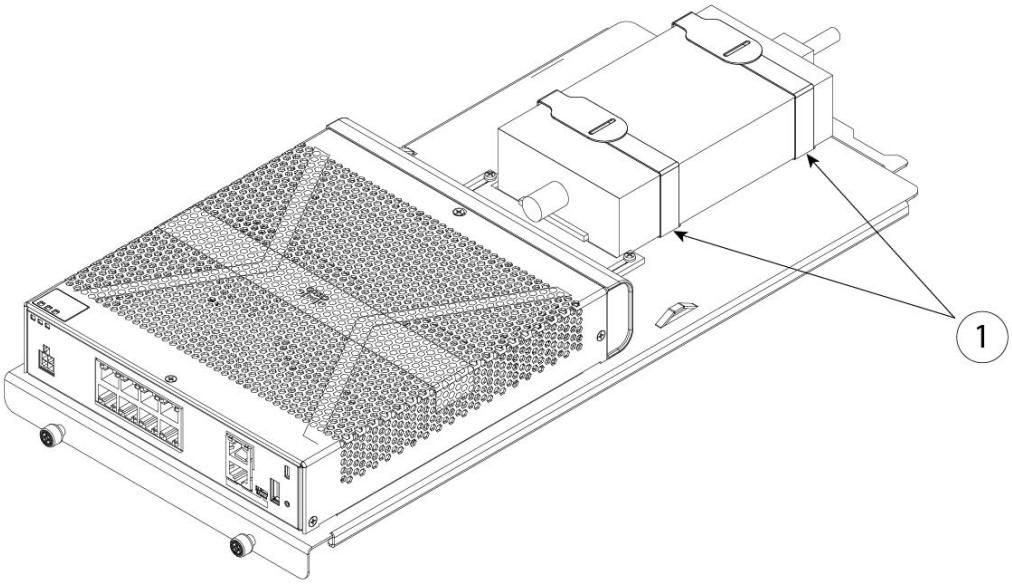
   AC 電源コードが背面側になっていることを確認します。

b) 電源装置を後方および側方の止め具に合わせます。

   背面側の滑り止めが電源装置に触れていない場合は、2本のネジを緩め、電源装置に触れる位置まで滑り止めをスライドさせてから、ネジを締め直します。

c) マジックテープストラップを再度取り付けてしっかりと締め、電源装置を固定します。

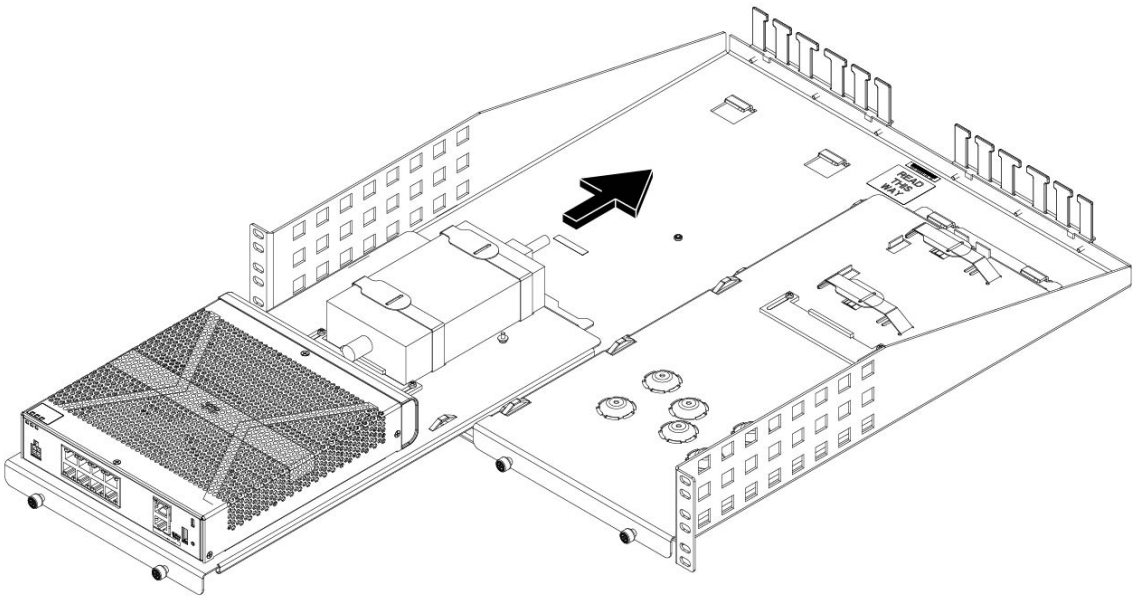
図 *47 :* マジックテープストラップの装着




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 電源装置に巻き付けられたベルクロストラップ | | — |

**ステップ 8** スライド式ラックトレイをラックシェルフの中にスライドさせます。

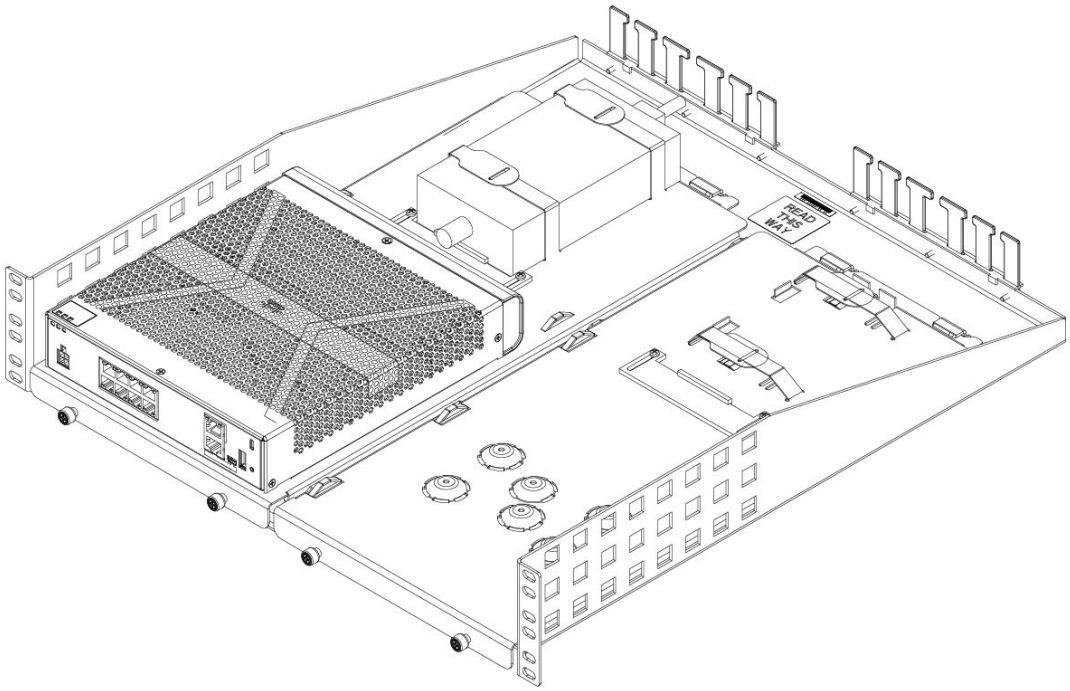
図 *48 :* ラックシェルフへのスライド式ラックトレイの取り付け



**ステップ 9** これで、シャーシのスライド式ラックトレイの取り付けと、スライド式ラックトレイのラックシェルフへの取り付けが完了しました。手順 1 ～ 8 を繰り返して、2 番目のシャーシを取り付けます。2 番目のス

ライド式ラックトレイと残りの 3 本の M3 X 7 mm ネジを使用して、2 番目のシャーシをスライド式ラックトレイに取り付けてから、ラックシェルフに取り付けます（手順 3 を参照）。

**図 *49*：ラックシェルフへのスライド式ラックトレイの取り付け完了**




**ステップ 10** ラックのタイプに合ったラックマウントキット付属の適切なネジ（12-24 X 0.75 インチまたは 10-32 X 0.75 インチ）を使用して、ラックにラックシェルフを取り付けます。

これで、電源コードを接続し、ケーブルガイドに通すことができるようになりました。

---

**次のタスク**

『Cisco Firepower 1010 Getting Started Guide』[英語] に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。

# 150 W 電源付きシャーシのラックマウント

⚠

**注意** このラックシェルフの手順は、1010E の 150 W 電源向けです。150 W の電源は、これまで説明したラックシェルフに収まりません。115 W または 66 W 電源を使用する 1010 および 1010E の手順については、115 W または 66 W 電源付きシャーシのラックマウント （44 ページ）を参照してください。

ラックマウントシェルフは 2 RU ラックに収まります。ラックマウントシェルフは 3.06 X 17.40 X 21.65 インチ（高さ X 幅 X 奥行）です。ラックマウントキット（部品番号 800-112976-01）には、次の品目が含まれています。

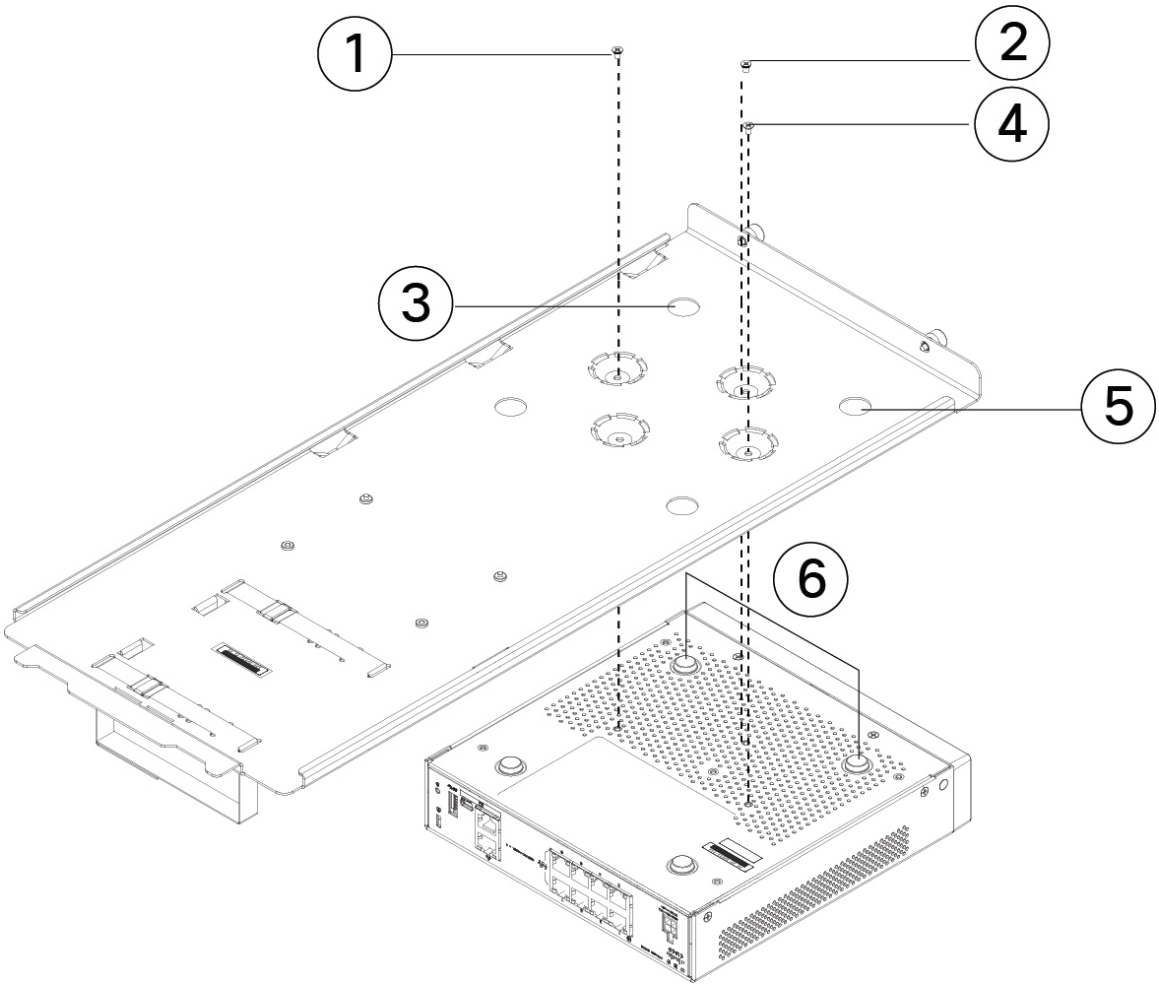
- ラックシェルフ
- スライド式ラックトレイ X 2
- M3 X 7 mm プラスネジ 6 本（各スライド式ラックトレイ用に 3 本）

## 手順

**ステップ 1** 大きな安定した作業領域で、上面を下向きにしてシャーシを配置します

**ステップ 2** ラックトレイを反転し、シャーシの上に配置します。正面に向いた前面または背面パネルを使用してシャーシを取り付けることができます。ラックトレイの大きな穴を使用して、ゴム製の脚と位置を揃えます。ゴム製の脚と大きな穴の中心が揃っていれば、ネジ穴はラックトレイの穴に重なります。こうすることで、ネジを正しい位置に揃えることができます。

図 *50 :* シャーシへのスライド式ラックトレイの取り付け




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 6 本の M3 X 7 mm ネジのうち 1 本 | **2** | 6 本の M3 X 7 mm ネジのうち 1 本 |
| **3** | ゴム製の脚と位置が揃う穴 | **4** | 6 本の M3 X 7 mm ネジのうち 1 本 |
| **5** | ゴム製の脚と位置が揃う穴 | **6** | ゴム製の脚 |

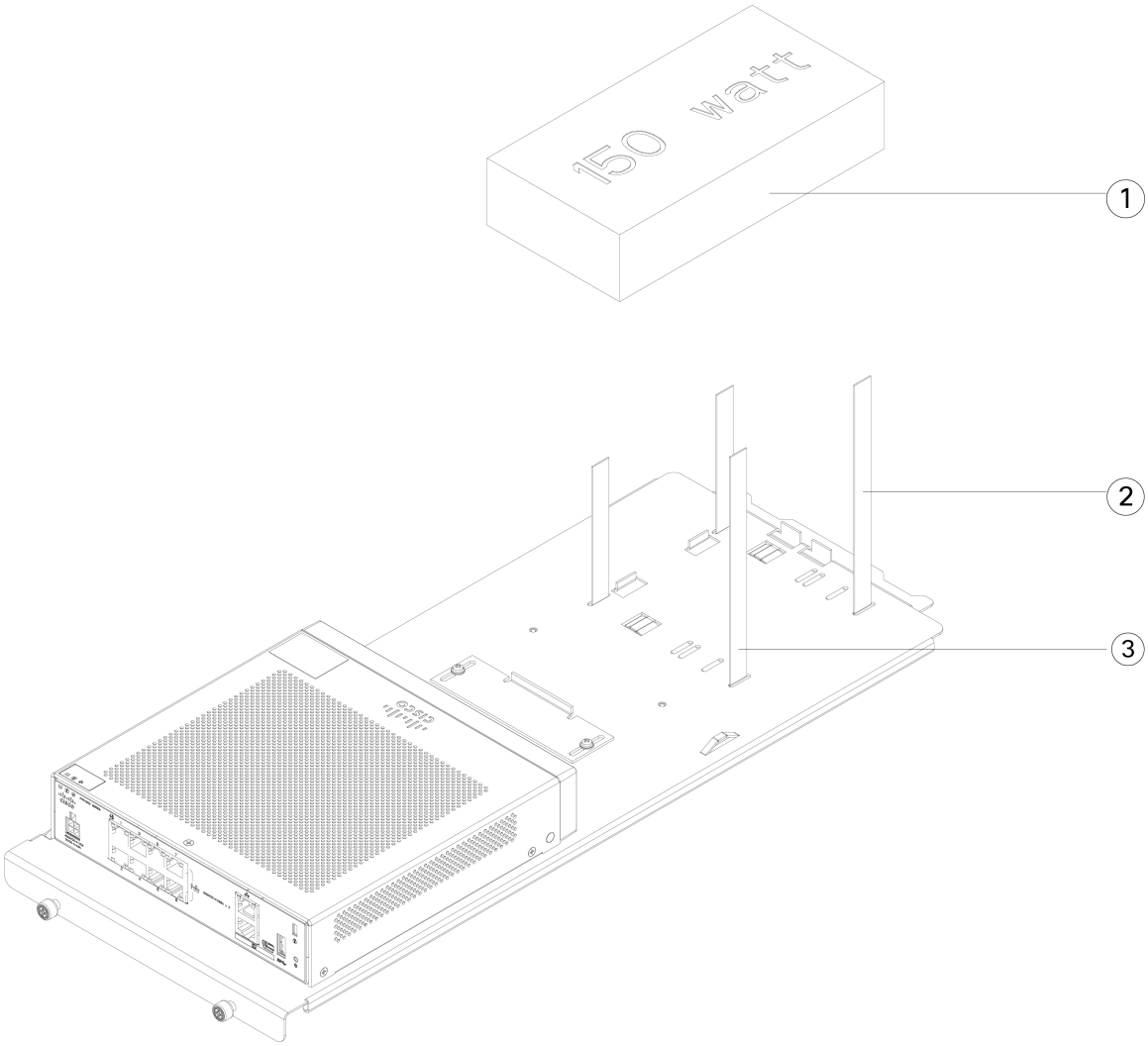
**ステップ 3** シャーシとスライド式ラックトレイの位置を調整して、スライド式ラックトレイシェルフの底の窪みにある 3 つの取り付け穴とシャーシの下部の取り付け穴を揃えます。

**ステップ 4** 3 本の M3 X 7 mm ネジを締めて、シャーシをスライド式ラックトレイの所定の位置に固定します（上の図を参照）。

**ステップ 5** 右側面を上にしてスライド式ラックトレイを慎重に回転させます。

**ステップ 6** シャーシ背面のスライド式ラックトレイに電源装置を取り付けます。

図 *51 :* スライド式ラックトレイへの電源装置の取り付け




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 電源モジュール | **2** | 電源装置用マジックテープストラップ |
| **3** | 電源装置用マジックテープストラップ | | — |

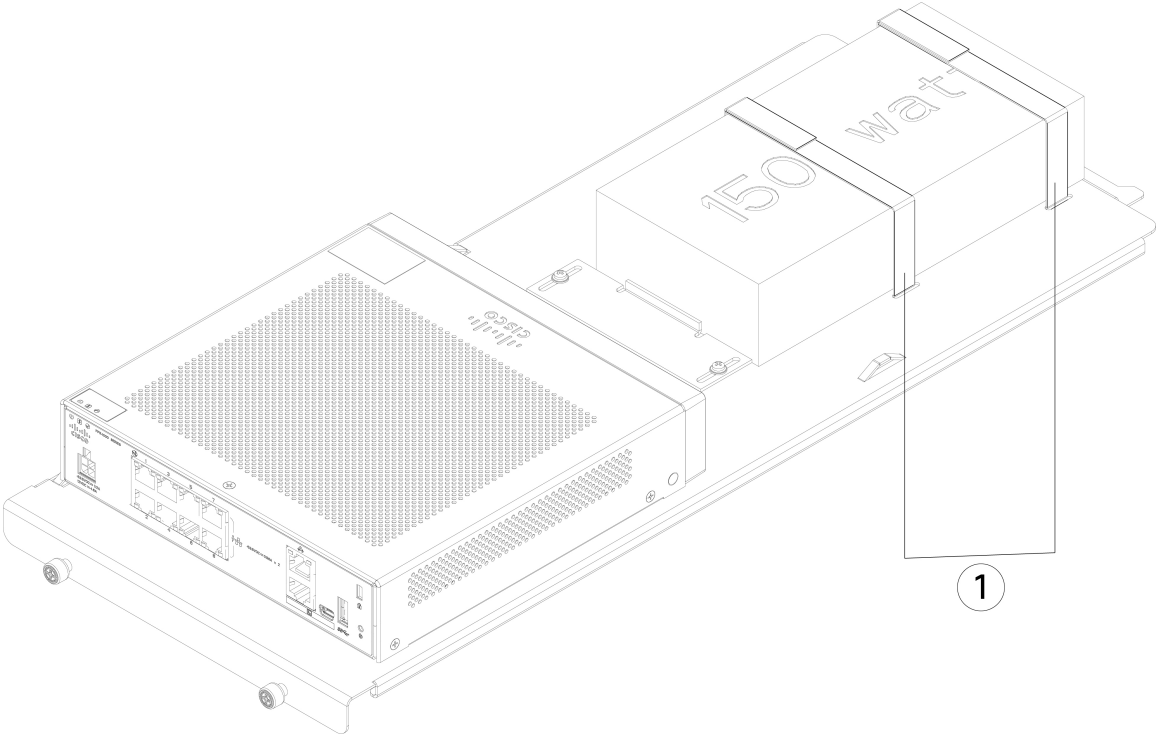
a) マジックテープストラップを緩め、シャーシ背面のスライド式ラックトレイに電源装置を設置します。AC 電源コードが背面側になっていることを確認します。

b) 電源装置を後方および側方の止め具に合わせます。

背面側の滑り止めが電源装置に触れていない場合は、2本のネジを緩め、電源装置に触れる位置まで滑り止めをスライドさせてから、ネジを締め直します。

c) マジックテープストラップを再度取り付けてしっかりと締め、電源装置を固定します。

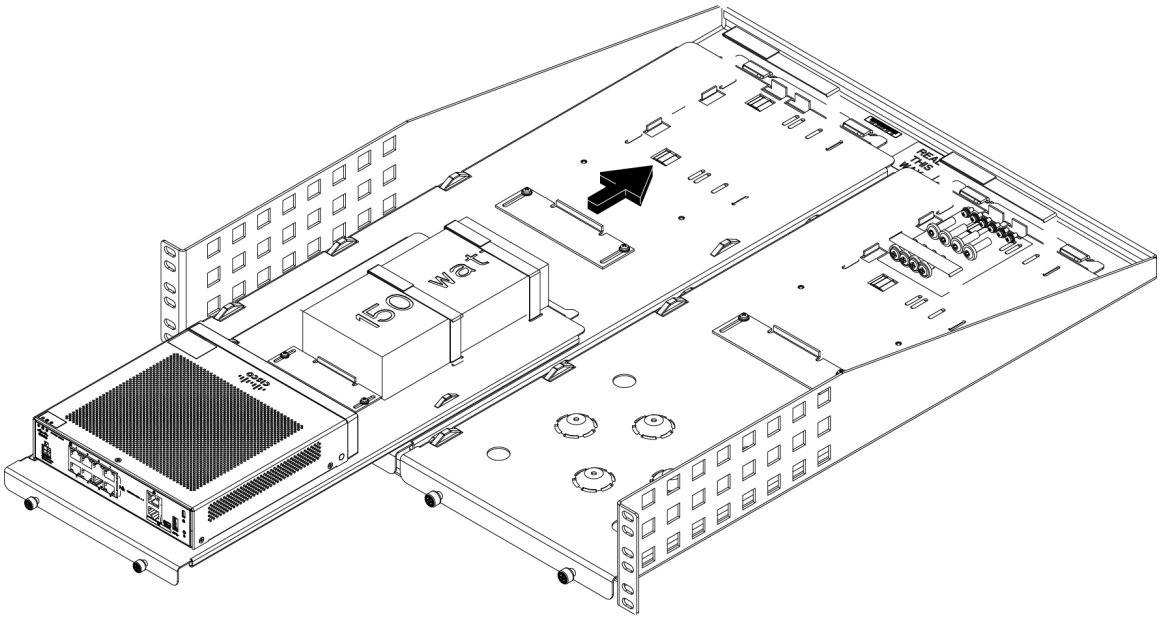
図 *52 :* 電源にマジックテープストラップを巻き付ける




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 電源装置に巻き付けられたベルクロストラップ | | — |

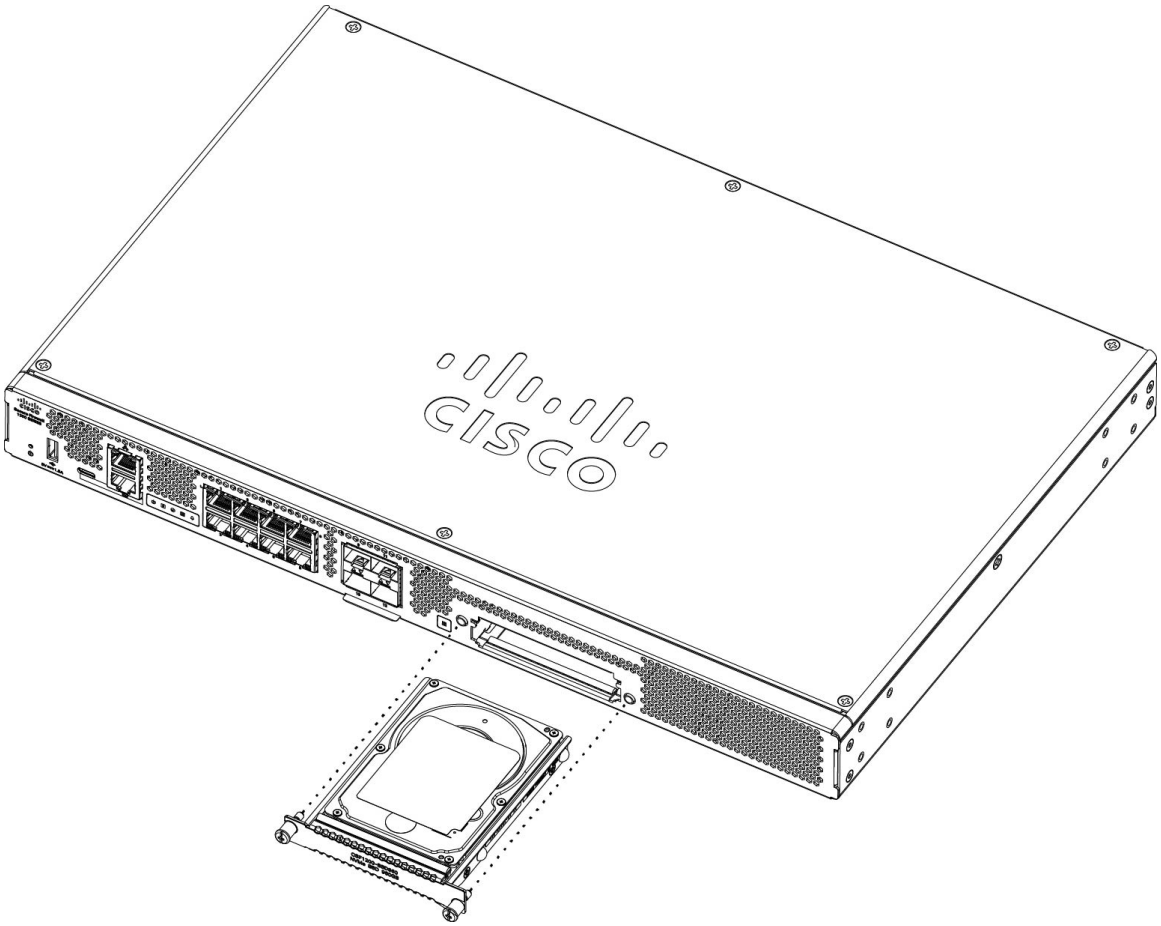
**ステップ 7** スライド式ラックトレイをラックシェルフの中にスライドさせます。

図 *53 :* ラックシェルフへのスライド式ラックトレイの取り付け




**ステップ 8** これで、シャーシのスライド式ラックトレイの取り付けと、スライド式ラックトレイのラックシェルフへの取り付けが完了しました。手順 1 ～ 8 を繰り返して、2 番目のシャーシを取り付けます。2 番目のスライド式ラックトレイと残りの 3 本の M3 X 7 mm ネジを使用して、2 番目のシャーシをスライド式ラックトレイに取り付けてから、ラックシェルフに取り付けます（手順 3 を参照）。

図 *54 :* ラックシェルフへのスライド式ラックトレイの取り付け完了

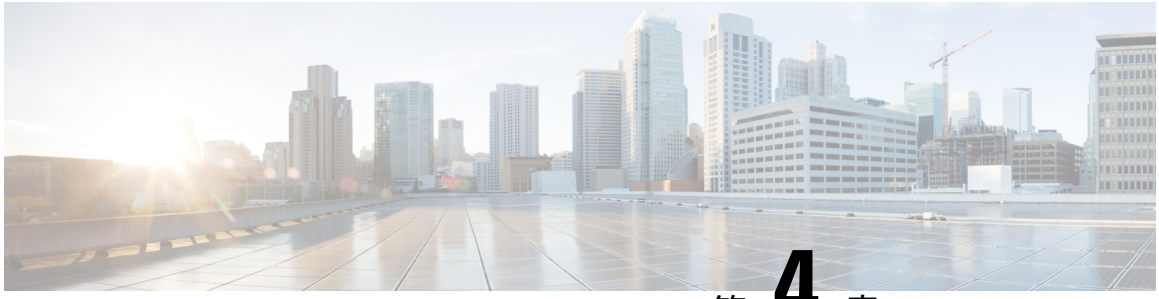


**ステップ 9** ラックのタイプに合ったネジを使用して、ラックにラックシェルフを取り付けます。

次に、電源コードを接続します。

### 次のタスク

『Cisco Firepower 1010 Getting Started Guide』[英語] に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。



第 4 章

# コンソール ポートへの接続


- Microsoft Windows でのコンソール ポートへの接続 （57 ページ）
- Mac OS X でのコンソール ポートへの接続 （59 ページ）
- Linux でのコンソール ポートへの接続 （59 ページ）


## Microsoft Windows でのコンソール ポートへの接続

Microsoft Windows ベースの PC をシャーシの USB コンソール ポートに最初に接続する際には、USB デバイス ドライバをインストールする必要があります。インストールしないと接続に失敗します。

ドライバをアンインストールするには、Add Remove Programs ユーティリティまたは Setup-exe プログラムを使用します。

（注） ドライバをアンインストールする前に、コンソール ターミナルの接続を解除してください。

### 手順

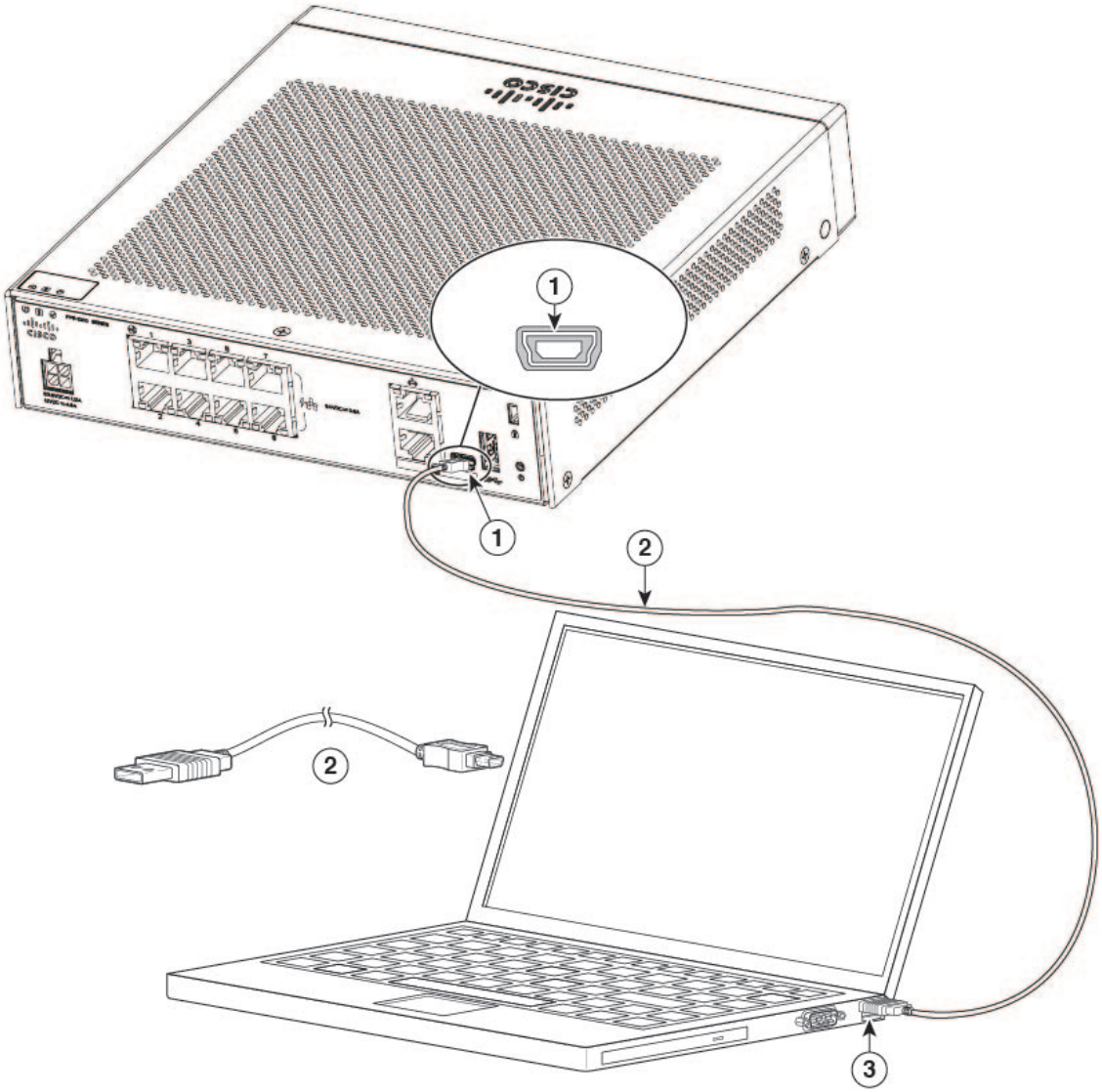
**ステップ 1** Cisco Download Software サイトの [USBコンソールソフトウェア（USB Console Software）] カテゴリから、使用しているモデルに対応する正しいドライバ（Cisco_usbconsole_driver_X_X_zip（X はリビジョン番号））を取得します。

（注）
ダウンロードサイトからルータ ダウンロード セクションにリダイレクトされ、Firepower 製品にもドライバが適用されます。ドライバは OS 固有であり、コンソールケーブルの製造元のベンダーには関連していません。

**ステップ 2** ドライバをインストールします。

**ステップ 3** 次の図に示すように、5 ピンの USB ミニ B をコンソール ポートに接続します。

図 *55 :* コンソール ポートの接続




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | USB ミニ B コンソール ポート | **2** | USB ミニ B と USB タイプ A 間のコンソール ケーブル |
| **3** | USB タイプ A | | — |

**ステップ 4** DB-9 コネクタ（または USB タイプ A）があるケーブルの端を端末または PC に接続します。端末または PC に DB-9 コネクタに対応しないコンソール ポートがある場合、そのポートに適切なアダプタを装着する必要があります。
USB コンソール ポートの LED が緑色に変わり、しばらくすると [新しいハードウェアが見つかりました（Found New Hardware）] ウィザードが表示されます。

**ステップ 5** 指示に従って、ドライバのインストールを完了します。

**ステップ 6** シャーシと通信するには、ターミナルエミュレータ アプリケーションを起動します。次のパラメータを使用してこのソフトウェアを設定します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット
- フロー制御なし

# Mac OS X でのコンソール ポートへの接続

組み込みの OS X ターミナル ユーティリティを使用して Mac OS X システムの USB ポートをコンソールに接続するには、次の手順に従います。また、独立したターミナル エミュレータ アプリケーションを使用する方法もあります。

**手順**

**ステップ 1** Finder を使用して、[アプリケーション（Applications）]>[ユーティリティ（Utilities）]>[端末（Terminal）] を選択します。

**ステップ 2** OS X USB ポートをシャーシに接続します。

**ステップ 3** 次のコマンドを入力して、OS X USB ポート番号を検索します。

**例**：

```
macbook:user$ cd /dev
macbook:user$ ls -ltr /dev/*usb*
crw-rw-rw- 1 root wheel 9, 66 Apr 1 16:46 tty.usbmodem1a21
DT-macbook:dev user$
```

**ステップ 4** 次のコマンドに続けてシャーシ の USB ポート速度を指定して、USB ポートに接続します。

**例**：

```
macbook:user$ screen /dev/tty.usbmodem1a21 9600
```

**ステップ 5** ターミナル ウィンドウから OS X USB コンソールを切断するには、**Ctrl+A** を押した後で **d** を入力します。

# Linux でのコンソール ポートへの接続

組み込みの Linux ターミナル ユーティリティを使用してコンソールに Linux システムの USB ポートを接続するには、次の手順に従います。

手順

**ステップ 1** Linux のターミナル ウィンドウを開きます。

**ステップ 2** Linux USB ポートをシャーシに接続します。

**ステップ 3** 次のコマンドを入力して、Linux USB ポート番号を検索します。

例：

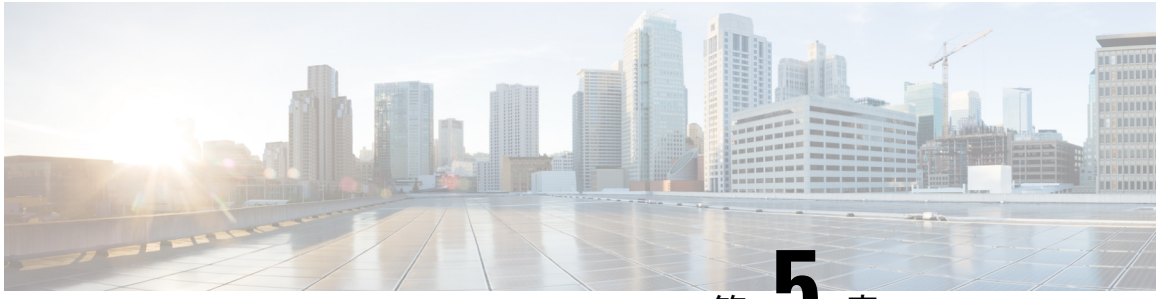
```
root@usb-suse# cd /dev
root@usb-suse /dev# ls -ltr *ACM*
crw-r--r-- 1 root root 188, 0 Jan 14 18:02 ttyACM0
root@usb-suse /dev#
```

**ステップ 4** 次のコマンドに続けてシャーシ の USB ポート速度を指定して、USB ポートに接続します。

例：

```
root@usb-suse /dev# screen /dev/ttyACM0 9600
```

**ステップ 5** ターミナル ウィンドウから Linux USB コンソールの接続を解除するには、Ctrl+A を押した後に **quit** と入力します。



第 5 章

# 設置、メンテナンス、アップグレード


• FIPS 不透明シールドの取り付け （61 ページ）


## FIPS 不透明シールドの取り付け

（注） FIPS 不透明シールドがシャーシのシリアル番号を覆っているため、CO はシリアル番号をメモして安全な場所に保管する必要があります。このシリアル番号は、Cisco TAC に連絡する際に必要になります。シリアル番号の位置については、シリアル番号とデジタル ドキュメンテーション ポータル QR コード （12 ページ） を参照してください。

（注） FIPS 不透明シールドは、デスクトップマウントまたは壁面マウントのみに取り付けることができます。ラックマウントはFIPS シールドをサポートしていません。詳細については、「シャーシのデスクトップ マウント （40 ページ）」と「#unique_36」を参照してください。

### 始める前に

注意 この手順は暗号担当役員（CO）のみが実行する必要があります。

FIPS 不透明シールドを取り付けるには次が必要です。

- #1 プラス ドライバ
- FIPS キットに含まれている次のもの（部品番号 69-100649-01）：
  - FIPS 不透明シールド 1 個（製品番号 800-106088-01）
  - FIPS 不透明シールドをシャーシに取り付けるために使用する M3 X 66 mm ネジ 3 本（部品番号 48-0384-01）

- 改ざん防止用ラベル（TEL）9 枚（部品番号 47-25553-01）

（注） TEL は、粘着性の裏材を使用した特殊な薄いゲージのビニールでできています。CO が TEL をシャーシに取り付けた後は、シャーシを開こうとすると TEL またはシャーシカバーが破損します。TEL には繰り返しのないシリアル番号が付加されているため、CO は破損を調べ、与えられたシリアル番号と比較して、シャーシが改ざんされていないかどうかを確認できます。TEL の角が丸まっていたり、破れていたり、切れている場合は、改ざんされていることを示します。ラベルがはがされた場合は、「FIPS」または「OPEN」と表示されることがあります。

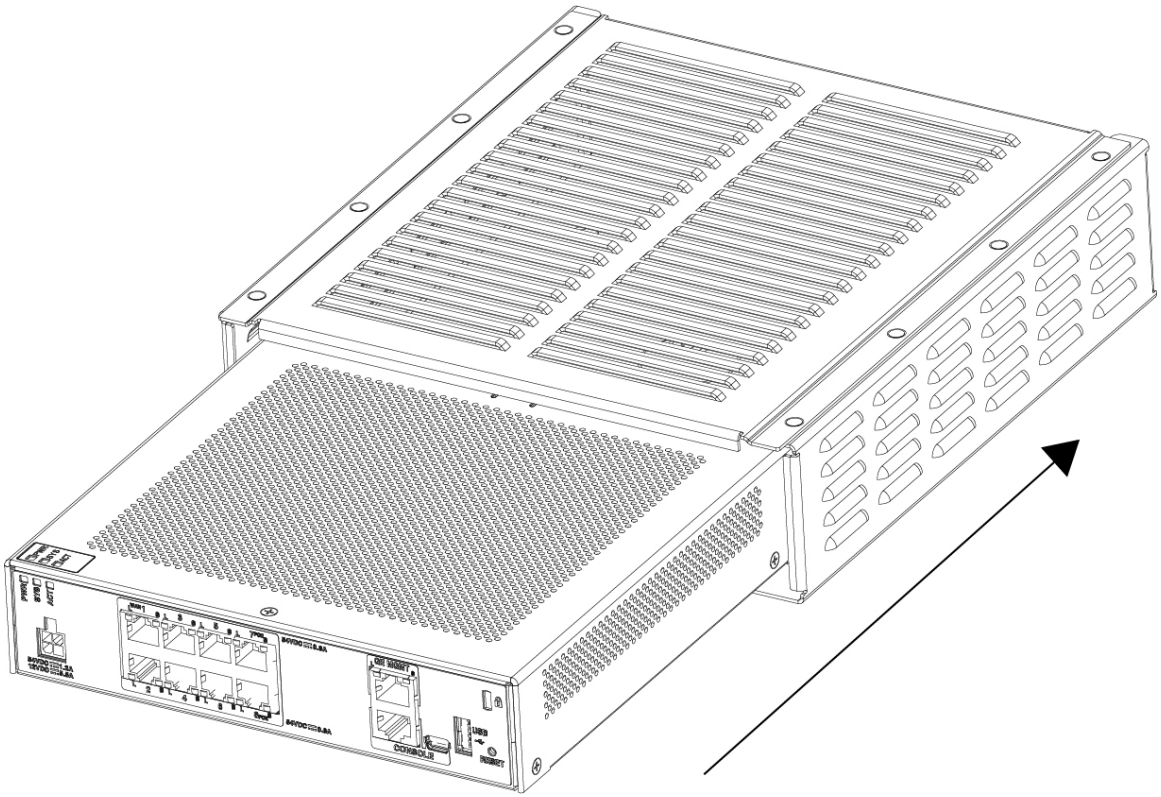
## 手順

**ステップ 1** シリアル番号をメモし、安全な場所に保管します。

**ステップ 2** シャーシが壁面に取り付けられている場合は、#unique_36 の手順 9 ー 10 に従って取り外します。

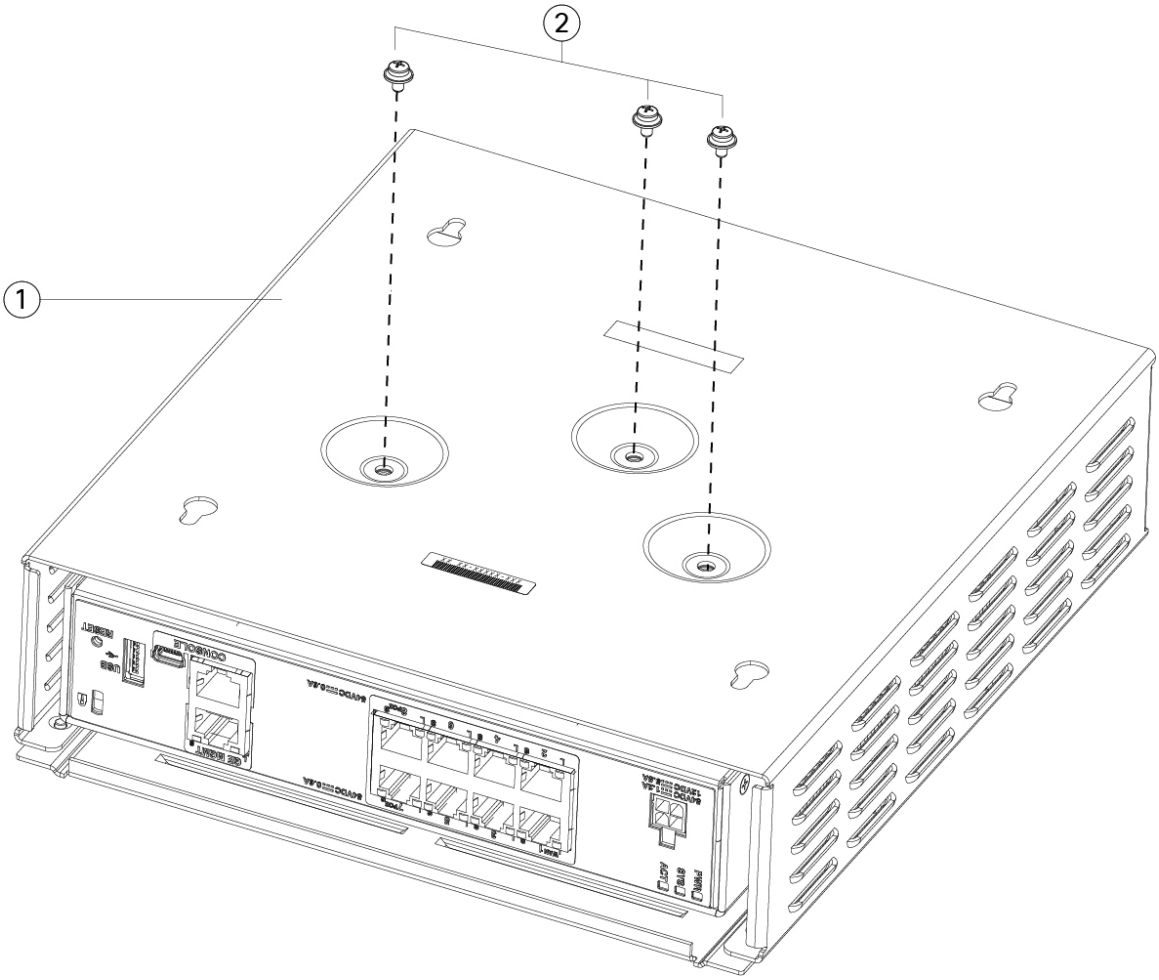
**ステップ 3** シャーシの右側を上にし、まず FIPS カバーの前面パネルにシャーシをスライドさせて、FIPS カバーを取り付けます。

図 *56 : FIPS* カバーへのシャーシの取り付け



**ステップ 4**　FIPS カバーを取り付けた状態でシャーシを裏返し、3 本のネジを取り付けます。

図 *57 : FIPS* カバーの底面へのネジの取り付け



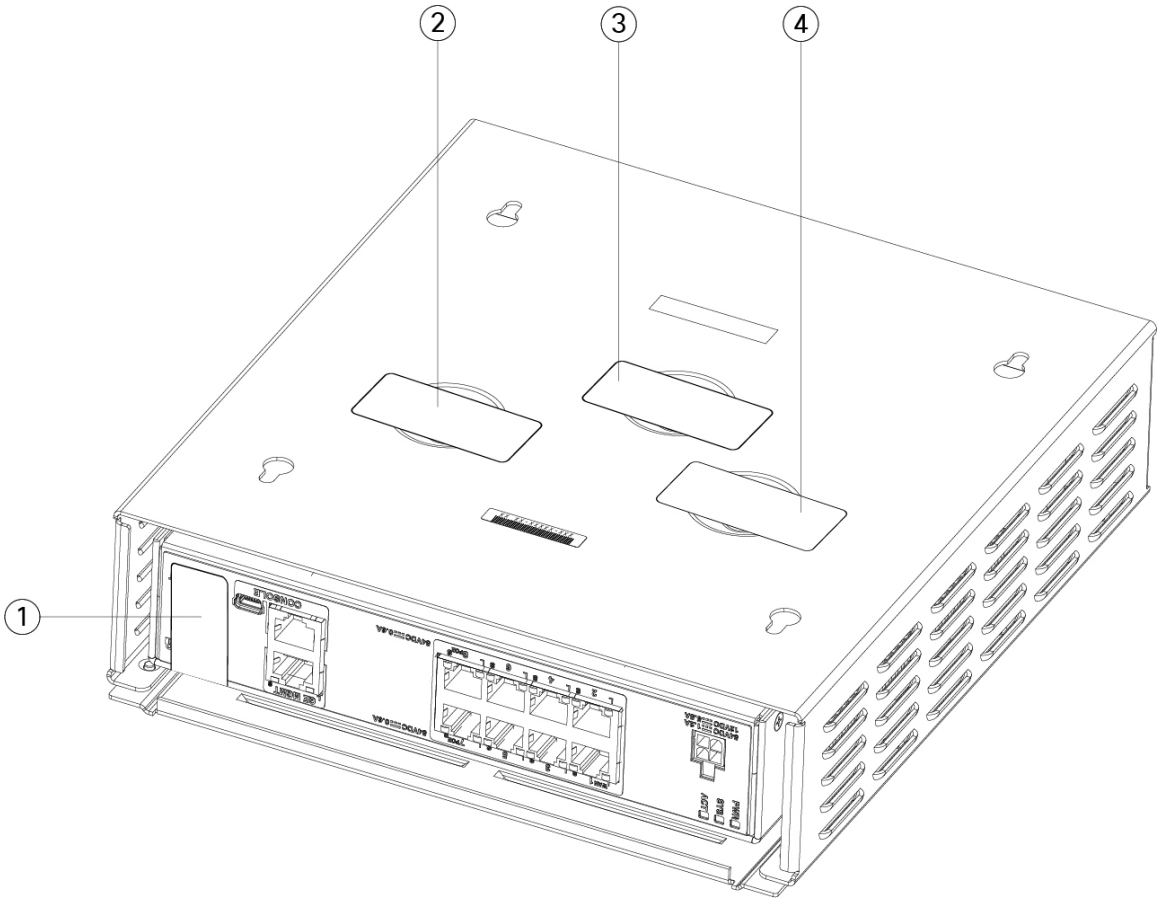

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | FIPS 不透明シールド | **2** | M3 X 66 mm プラスネジ 3 本 |

**ステップ 5** TEL を貼り付ける前に、アルコールベースのクリーニングパッドを使用して、シャーシと FIPS カバーのグリスや汚れ、油などを掃除します。

**ステップ 6** TEL 4 枚を貼り付けます。シャーシの底部に 3 枚、ネジの上に 1 枚、シャーシの前面に 1 枚を貼り付けます。正しい配置については、次の図を参照してください。図は、3 枚の TEL を配置するシャーシの底面を示しています。TEL を最低 12 時間硬化させます。

**注意**
TEL の配置に狂いがある場合、シャーシが FIPS モードではないことを示します。

図 *58 : FIPS* カバーの背面パネルと底面への *TEL* の配置




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | シャーシの背面パネルのTEL 1 | **2** | FIPS カバー底面左のネジ上の TEL 2 |
| **3** | FIPS カバー底面中央のネジ上の TEL 3 | **4** | FIPS カバー底面右のネジ上の TEL 4 |

**ステップ 7** 取り付け器具を使用している場合は、壁面取り付け器具にシャーシを再度取り付けます。手順については、#unique_36を参照してください。

**ステップ 8** 電源コードをシャーシに接続し、電源コンセントに接続します。

**ステップ 9** リア パネルの電源スイッチを押します。

**ステップ 10** 前面パネルの電源 LED を確認します。電源 LED については、ステータス LED （14 ページ）を参照してください。緑の点灯は、シャーシの電源がオンであることを示します。

**ステップ 11** シャーシを FIPS モードにします。

シャーシを FIPS モードにする方法については、次の手順を参照してください。

- FIPSモードを有効にする手順については、該当するソフトウェアバージョンの設定ガイドの「Security Certifications Compliance」の章を参照してください。

- ASA で FIPS モードを有効にする手順については、『Cisco ASA Series Command Reference, AH Commands』[英語] の **fips enable** コマンドを参照してください。

### 次のタスク

設定の詳細については、『Cisco Firepower 1010 Getting Started Guide』[英語] を参照してください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。